

何郡上京區農商諸會社表 (二) (資本ヲ株式ニ分) 明治何年十二月三十一日調
 報定期翌年一月

總計	農 業		商 業		名 稱	種 別	營 業 所 在 地	創 設 年 月	業 資 本 金	全 額 掛 込 高	組 員 數	役 員 數	人 員 雇 入	營 業 支 出 金	營 業 收 入 金
	合 計	計	合 計	計											

一本表ハ農商業ノ爲ニ一場ヲ設ケ會社組合等ノ名義ヲ以
 タスルモノ、年末現在數ヲ記載スルモノトス但資本ヲ
 株式ニ分割シタル會社ハ第一表ニ記入スヘク組合會社
 ハ第二表ニ記入スヘシ

一本社ノ資本ヲ以テ支社或ハ分社ヲ設立セシモノハ本表
 ニ準シ調製スヘシ

一諸會社ノ中製造所ヲ所有シテ商工ヲ兼タルモノハ其重
 ナルモノニ從ヒテ本表商業ノ部或ハ次表工業部ニ記入
 スヘシ例ヘハ工場ヲ所有スト雖モ他ノ製造品ヲ任入テ
 之ヲ販賣スルヲ自己ノ製造品ヨリ多キモノハ本表商業
 ノ部中ニ記入スヘシ

一耕作開墾發露製茶牧畜山林漁獵等ニ係ルモノハ農業部

中ニ記入シ物品賣買水陸運輸保險金貸等ニ係ルモノハ
 商業部ニ記入スヘシ
 一 國立銀行株式取引所米商會所等政府ノ條例ニ據リ設立
 セシ會社ハ記入コ及ハス
 一 雇人ノ欄ヘハ常ニ使役スル農作人及職工小使人足荷造
 人等ヲ記入スヘシ其人員ハ每月末ノ現數ヲ十二ヶ月ヲ
 以テ平均シタルモノヲ掲クヘシ但シ期節其他ニ由リ其
 營業月數一ケ年ニ滿タサルモノハ現ニ營業セシ月數ヲ
 以テ其平均ヲ掲クヘシ

第四十五號

何那上京區工業會社及諸製造所表

(一) 明治何年十二月三十一日調
 報道期翌年一月
 (資本ヲ株式ニ分割シタルモノ)

名稱	營業所在地	創設年月	資本全額	株主總數	職工總數	蒸氣機關馬力數	水車馬力數	營業支金	營業收入金	合計

何郡上京區工業會社及諸製造所表
(資本ヲ株式ニ分割セサルモノ)

明治卅一年十二月三十一日調
 報定期翌年一月

名 稱	營業所 在創 業資 本金	全 本 金 額	高 排 組 合 人 員	職 工 雇 人	蒸 氣 機 關	水 車	營 業 支 出 金	營 業 收 入 金
					數 馬 力	數 馬 力	圓	圓
合 計								

一本表ハ諸製造ノ爲ニ工場ヲ設ケ千圓以上ノ資本金ヲ以
 ヲ職工ヲ使役スル會社組合製造所及一己人ノ資本ヲ以
 テスルモ亦千圓以上ニシテ職工ヲ使役スル工場ノ年末
 現數ヲ記載スルモノトス但組合又ハ一己人ノ資本ヲ以
 テスル製造所ハ第二表ニ記入スヘシ

一諸會社ノ中商工ヲ兼タル者ノ記入方ハ前表ノ例ニ從フ

一職工員數ハ毎月末ノ現數ヲ十二月ニ平均シタルモノ
 ヲ揭クヘシ

但營業月數一ケ年ニ滿タサルモノハ現ニ營業セシ月
 數ノ平均ヲ揭クヘシ

一土木坑業ノ類ハ本表中ニ記入シ國稅ヲ課スヘキ釀造業
 ハ記入ニ及ハス

甲第七拾五號 五十一日 郡

自今菓子製造賣上金高調査上申書ハ所轄收稅部出張所へ
送付スヘシ

右相達ス

甲第七拾六號 十一月 郡區

明治二十年甲第百二十号達土地ニ係ル地方稅其他不納者
公賣處分調原樣式改正相成候付明治二十一年度分ヨリ更
ニ別紙樣式ニ依リ毎年十月限(廿一年度ハ本年)前年度之事
實ヲ取調差出スヘシ

但廿一年度表ニハ樣式中市町村稅トアルヲ區町村費郡
市町村長トアルヲ郡區長戸長トシ取調ヘシ
右相達ス

明治何年度土地ニ係ル地方稅市町村稅不納者公賣處分調	
不納金額 公賣代價 納濟金額 內 過剩下戻金額 公賣入費 合計 不納金ト納濟金ト 差引不足金額 公賣ノ際買受人ナ キ地所ニ對スル不 納金額	土地ニ係ル地方稅 土地ニ係ル市町村稅 合計 円錢 厘 円錢 厘 円錢 厘

廿二年

一 表中公賣代價ト其内譯合計ト符合シ又納濟金額及不納金納濟金差引不足金ト公賣ノ際買受人ナキ地所ニ對スル不納金額ト符合シテ前項不納金額ト必ス符合スヘキモノトス

一 備荒貯蓄金ノ不納ハ地方税ニ合記ス以下之ニ準ス

耕地 宅地 山林原野雜種 合計	公賣シタル		郡市町村長ノ管 掌シタル		合計
	段別 町段畝歩	地價 円錢厘	段別 町段畝歩	地價 円錢厘	
一 市町村長ノ管掌シタル段別地價ハ該年度中ノモノ、ミナ掲載スヘシ					
土地ニ係ル地方税不納人員不納ノ事由土地ニ係ル地方税不納人員不納ノ事由					
又ハ市町村税租 ト連帶納メサルモ	貧	困	又ハ市町村税ヲ納 メサルモノ	貧	困
不納人員					

一 不納事由ノ欄ヘハ上欄ノ人員ヲ貧困ト怠慢其他トニ區別シ記入スヘシ

甲第七拾七號 十一月廿七日 那、町村、

郡町村吏員及町村會ニ係ル統計材料明治二十二年十二月三十一日調之分ヨリ別紙様式ニヨリ取調町村役場ニ於テハ每翌年一月三十一日限郡役所へ差出シ郡役所ニ於テハ役所調表ト共ニ同二月五日限府廳へ差出スヘシ
右相違ス

(郡役所調)

某郡吏員人員及月俸		明治何年十二月三十一日調	
階	級	人	員
			月
			俸

郡長 何等	書記 何等	郡役所事務備 月俸何程	円 銭 厘
----------	----------	----------------	-------------

(町役場調)

某町村吏員人員及月俸

明治何年十二月三十一日調

階級	人員	支給金額		
		月俸	報酬	合計
町村長 名譽職 月俸何程		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
助役 名譽職 月俸何程				

常設委員名譽職	収入役 月俸何程	町村書記 月俸何程	町村事務備 月俸何程	區長及代理名譽職
---------	-------------	--------------	---------------	----------

右二表ノ備考

- 一 人員ハ其年十二月三十一日ノ現員ニ據ル
- 一 年俸及報酬金ノ年額ヲ以テ定ムルモノハ十二分ノ一日給ハ三十日分ヲ以テ計算シ月額トナシテ記入スヘシ
- 但報酬ニ属スル實費ノ支辨ハ之ヲ除ク
- 一 兼務ハ人員金額トモ朱書ヲ以テ別項ニ記載スヘシ但給料或ハ報酬ヲ受ケサルモノハ掲載スルニ及ハズ
- 一 委員ハ常設(臨時委員ハ省ク)ノ委員ニシテ町村會議員及町村公民中ヨリ撰舉セラ

廿二年

- レシモノ、ミヲ掲クヘシ
- 一 表中掲ル郡役所事務備ノ欄ニハ定備ニシテ事務ヲ執ルモノ町村備ノ欄ニハ町村制ニ附屬員トアルモノ、内定備ニシテ事務ヲ執ルモノヲ掲クヘシ
- 一 見習ハ其等級別ノ次ニ掲載スヘシ

(郡役所調)

某郡吏員族籍別		明治何年十二月三十一日調	
華族	士族	平民	合計
郡長			
書記			

(町村役場調)

某町村長族籍別		明治何年十二月三十一日調	
華族	士族	平民	合計

町	村	長
---	---	---

(町村役場調)

某町村吏員退職料受領人員及金額		明治何年十二月三十一日調	
町	村	人員	金額
助	役		
何	々		

- 一 本表ニ掲ル人員ハ十二月三十一日ノ現員ヲ掲ク金額ハ其現員ニ支給スヘキ年額ヲ掲載スヘシ
- 一 町村制第七十九條ニ依リ官職其他ノ職務ニ就キ給料ヲ受ル者ト雖トモ本表ニハ之ヲ合算シ除クヘカラズ

(町村役場調)

町	村	會
明治何年十二月三十一日調		

種別	會數	員			
		華族	士族	平民	合計
町會					
村會					
町村組合會					
町村總會					

- 一 町村組合會ハ町村制第百十六條ニ依テ設置スルモノヲ云フ而シテ其調査ハ主擔ノ町村ニ於テ爲スヘシ
 - 一 町村總會ハ町村制第三十一條ニ依テ設置スルモノヲ云フ其議員ハ掲載スルニ及ハズ
 - 一 會數ハ開會ノ度數ニアラズ設置ノ數ナリ
 - 一 議員ハ撰舉權ヲ有スルモノ、内ニ包含スルモノトス
 - 一 町村聯合會ハ設置ノ會數議員等調査スルニ及ハズ
- 以上各表中掲載スヘキ事實ヲキモノト雖モ其目ヲ掲ケ員數欄内ニハ朱線ヲ引クヘシ

甲第七拾八號 十一月廿八日 郡、町村、區
 明治十九年五月當廳乙第九十三號戶籍表式達中第一表第
 二表左ノ通改正ス
 右相違ス

第一戶口表 (明治何年十二月三十一日現在) 郡 區 名

町村名	本籍人		現住戶數
	男	女	

再	揭	町	村	合	計

一現住戸數ノ欄ニハ本籍ナル者ト本籍ナラサル者ト又戸主タル者ト戸主タラサル者トヲ問ハズ渾テ其地ニ現住シテ一世帯ヲ爲ス竈數ヲ記入スヘシ但官舎社寺學校病院製造所等ノ構内ニ居住スルモ別ニ一竈ヲ爲スモノハ

亦一戸トシテ之ヲ記入スヘシ
 一再掲町村ノ欄ニハ本籍人口壹萬以上アル町村及本籍人ヲ本トシ次表ノ出ヲ除キ入ヲ加ヘテ現住人口壹萬以上アル町村ノ本籍人並ニ現住戸數ヲ掲クヘシ

第二 人口出入表 (明治何年十二月三十一日現在) 郡 區 名

町村名	出				入			
	外國行 寄留	他府縣出 寄留	他郡市出 寄留	陸海軍在囚人及懲 營艦者 治人 失	他府縣入 寄留	他郡市入 寄留	陸海軍在囚人及懲 營艦者 治人 失	外國行 寄留

郡内ト雖モ其町村ノ外ニ出テ住スル者ハ他郡市出寄留
トナシ町村ノ外ヨリ來テ住スル者ハ他郡市入寄留トナ
シテ記入スヘシ

告示第壹號 七月

京都商業學校之畿下京區第二組四坊堀川町ニ移轉ス
右告示ス

告示第貳號 八月

今般内務省衛生局ニ於テ醫籍刊行可相成ニ付各自現住所
及ヒ免狀番號ヲ記シ本月卅一日限リ直ニ同局へ届出且ツ
爾後住所ニ異動アルルハ其都度全局へ届出ツヘシ

但郵便端書ヲ用フルモ苦シカラス
右管内醫師へ告示ス

告示第三號 九月

青森縣ニ於テ水産保護ノ爲メ左之通漁場取締規則相定候
旨該縣ヨリ通知アリ

廿二年

右告示ス

漁場取締規則

第一條 漁業組合ノ設ケアル漁場ニ於テハ其組合ニ加入
スルニアラサレハ組合規約ニ指定シアル種類ノ魚介藻
ヲ採捕スルコトヲ得ス

第二條 遊樂若クハ自用ノ爲メ魚介藻採捕スルモノハ其
地組合規約ニ定メタル禁停制ノ事項ヲ遵守スヘシ

第三條 本則ニ違背シタルモノハ五錢以上壹圓九拾五錢
以下ノ科料又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

告示第四號 十月十日

愛媛縣風早郡安居島港修築費償却ノ爲本年二月一日ヨリ
明治三十三年九月迄入港諸船舶ヨリ左記之通港錢取立候

旨全縣ヨリ通知越セリ
右告示ス

一 漁船一艘ニ付一ケ年	金拾五錢
一 日本形商船五反帆以下	金壹錢
一 全 商船七反帆以上	金貳錢
一 全 商船八反帆	金五錢
一 全 商船九反帆	金六錢
一 全 商船十反帆	金七錢
一 全 商船十一反帆	金壹錢
一 全 商船十二反帆	金壹錢貳厘
一 全 商船十五反帆	金壹錢四厘
一 西洋形船一噸ニ付	金壹錢

廿二年

告示第六號 廿三日

國稅地方税ニ關スル諸鑑札遺失紛失等アルルハ其時々官報ニ掲載廣告致シ來候處爾後ハ該廣告ヲ廢止候ニ付右鑑札ヲ拾ヒ得ルカ又ハ他人ニ於テ之ヲ取持スルモノヲ發見シタルルハ直ニ其地郡區役所戸長役場又ハ警察署分署派出所ノ内へ届出ヘシ

右告示ス

告示第九號 二月九日

巡查配置願必得別紙ノ通相定ム

但十六年九月示第二百八十四號告示及十七年九月示第三百三號告示ハ自今廢止ス
右告示ス

巡查配置願心得

- 第一條 一已人民若クハ銀行會社等ニシテ巡查ノ配置ヲ出願セント欲スル者ハ巡查人員并ニ俸給額及其要スル時間等ヲ明記シ所轄戸長及警察署長若クハ分署長ヲ經由シ當廳ニ出願スヘシ
- 但一月以下ノ允請ハ警察署長分署長ニ出願スヘシ
- 第二條 巡查ハ晝夜勤務ノ者ナルヲ以テ日々要スル人員ノ倍數ヲ出願スヘシ
- 第三條 允請巡查ニ属スル費用ハ渾テ出願者支辨スヘシ
- 第四條 前條ノ費用ハ一ケ年分ヲ豫算シ毎三ヶ月分所轄警察署又ハ分署へ前納スヘシ
- 但三ヶ月ニ滿タサル配置允請ハ渾テ其費用ヲ前納ス

ルモノトス

第五條 巡查ニ属スル費用ノ外願人ノ爲メニ生スル所ノ費用ハ所轄警察署長ノ指揮ニ從ヒ支辨スヘシ

第六條 一ヶ月以内允請巡查ノ費用ハ所轄警察署長分署長ノ指揮ニ從ヒ前納スヘシ

第七條 六時間以内巡查配置ヲ請ハントスルルハ其要スル人員ヲ限リ口頭又ハ書面ヲ以テ所轄警察署長若クハ分署長ヘ願出ツヘシ

第八條 一ヶ月以内ノ允請ハ許可日限内ト雖モ都合ニ依リ中止スルコトアルヘシ

第九條 允請巡查俸給ノ外壹名分ノ費用概畧左ノ如シ但巡查看守給助例ニ依リ給與スヘキモノアルル及年

未慰勞金ハ其時々之ヲ徴收ス

一金 六 錢

辨當料一夜分

但十二時迄ハ半額トス

一金 貳圓六拾錢

劍 壹振

一金 六 錢

腕拔 壹個

一金 三拾五錢

劍釣革 壹個

一金 拾貳錢

帽日草 壹個

一金 拾四錢

日章卸 貳拾個

一金 七 錢

手帳 壹冊

一金 六 錢

呼子笛 壹個

一金 七 錢

捕繩 壹筋

一金 拾五錢

提灯 壹張

廿二年

二百廿三

一金六拾八錢

提燈 壹個

以上拾品ハ備付ニシテ其用ニ堪ヘサルヲ埃テ修補シ又

ハ新調ス

一金四拾四錢

帽 壹個 給與期限 一ケ年

一金五拾五錢

頭巾 壹個 全 三ケ年

一金壹圓六拾五錢

肩掛 壹個 全 三ケ年

一金四圓四拾錢

外套 壹個 全 一ケ年六月

一金貳圓三拾錢

冬服 壹組 全 一ケ年

一金拾五錢

日覆 壹個 全 三ケ年

一金貳圓貳拾錢

夏服 貳組 全 二ケ年

一金壹圓五拾錢

肌着 三組 全 四ケ月

一金四錢

履下 壹足 全 十五日

一金九拾五錢

短靴 壹足 全

六ケ月

一金壹圓六拾五錢

長靴 壹足 全

一ケ年

第十條 一ケ月以内允請巡查壹名ノ費用左ノ如シ

一金六錢

辦當料前條ニ同シ

一金三拾錢

廿四時間以内慰勞

但十二時間以内ハ半額トス

一金壹錢

雜收入一日分

但制服ヲ要セサル者ハ省除ス

告示第拾四號 十三日

本年徵兵令改正相成候處海軍生徒及海軍工夫ハ常備兵籍

ニ編入サレタルモノニ有之又東京商船學校函館商船學校

生徒ハ卒業ノ上ハ海軍豫備員ニ充ツヘキ者ニ付海軍生徒

廿二年

二百廿五

ニ準セラレタリ

右告示ス

告示第拾五號 三月十三日

明治廿一年告示第三十一號京都商業學校規則第十四條左ノ通更正ス

第十四條 授業料ハ一ケ月上下両京區内在籍及同區内
一戸寄留スルモノ本科生金壹圓豫科生金七拾錢同
區外ノ者本科生金壹圓三拾錢豫科生金壹圓ヲ納メシ

右告示ス

告示第拾九號 三月廿二日

天田郡荒河村ニ設置有之荒河臨時巡查派出所ヲ南桑田郡

小林村へ移シ小林臨時巡查派出所ト改稱ス

右天田南桑田兩郡へ告示ス

告示第貳拾號 三月廿二日

上京警察署屬下ノ森巡查派出所巡回區域ノ内上京區第十
三組ヲ割キ全組内東西町ニ巡查派出所一ヶ所増設シ御前
通巡查派出所ト稱ス

右上下京區へ告示ス

告示第貳拾四號 三月廿八日

京都市街人民並ニ各郡町村ノ内今般數町村ヲ合併セシ町
村人民ヨリ府廳其他諸官廳へ差出ス書面ノ住處記載方ノ
義ハ來ル四月一日ヨリ左ノ書式ニ依ルヘシ

(參看本年甲第十九号)

廿二年

二百廿七

京都市何區何通何小路何町上ル下ル又何町何番戶
何那何村字何(舊)町村名ニテ大字ト稱スヘキモノナリ尤
チ記ス必用ナキモノハ記載セサルチ可トス(假令)何番戶
ハ淀町字池上龜岡町字上矢田ト記スヘキカ如シ

右告示ス
告示第貳拾六號 四月一日

今般法律第十三号ヲ以地券被廢止候ニ付右公布以前開墾
地目變換潰地等許可濟又ハ土地所有ノ移轉等登記濟ニシ
テ地券書換出願未濟ノモノハ本月中並爾後土地所有主轉
居ニ係ルモノハ其時々土地臺帳訂正方町村ハ所轄郡役所
京都市ハ當府廳へ申出ツヘシ

右告示ス
告示第三拾號 四月一日

土地ヲ分割又ハ合併シテ賣買讓與セント欲スルモノハ先
ツ其土地ノ分割合併ヲ出願シ許可ヲ經テ賣買讓與等登記
出願ノ手續ヲ爲スベシ (本年告示第百二十九号ヲ以テ文字挿入)

右告示ス
告示第三拾壹號 四月十二日

明治十七年甲第百二十二号布達本府立盲啞院規則別紙之
通改定ス

右告示ス

(別紙)

京都府盲啞院規則

第壹章

學 則

第一條 本院ハ盲啞子弟ノ獨立自活ニ須要ナル教育ヲ施

廿二年

二百廿九

ス所トス

第二條 教科ヲ分チテ尋常科専修科ノ二トス

第三條 盲生尋常科ハ講談、讀方、作文、算術、音曲、体操、ノ六科トス

第四條 盲生専修科ハ音曲科、按鍼術科ノ二トス

第五條 啞生尋常科ハ事物解説、解書方、作文、習字、圖畫、算術、裁縫、体操、ノ八科トス

但裁縫ハ女子ニ限ル

第六條 啞生専修科ハ彫鐫科、指物科、裁縫科、刺繡科、工藝圖畫科、ノ五トス

第七條 修業年限ハ尋常科ヲ五ケ年トシ専修科中按鍼術指物ノ二科ハ四ケ年其他ハ五ケ年トス尋常科第四年級

ニ至リ専修科中ノ一科若クハ二科ヲ兼修セシム

但按鍼術ハ生徒ノ望ニ依リ按摩又ハ按腹各一項ノ撰修ヲ許スコトアルベシ

第八條 學級ハ學年ニヨル

第九條 學年ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十條 生徒ノ入學ハ每學年ノ始トス

但欠員アルルハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第十一條 尋常科ニ入ルヲ得ルモノハ年齢八歳以上トス

第十二條 専修科ニ入ルヲ得ルモノハ尋常科第三年級ヲ卒ヘタルモノ又ハ之レニ相當スル學力ヲ有スルモノトス

但年齢十五歳以上ノモノハ事情ニヨリ學力ノ如何ヲ問ハス直ニ専修科ニ入學ヲ許スコトアルヘシ

第十三條 入學ヲ志願スルモノハ書式第一号ニ依リ願出ヘシ

第十四條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ書式第二号ニ依リ京都市内ニ一家計ヲ立ツル丁年以上ノモノヲ保証人ト定メ在學証書ヲ差出スヘシ

但保証人轉宅スルルハ其都度届出ヘシ

第十五條 疾病又ハ不得止ノ事故アリテ中途退學セント欲スルルハ其父兄又ハ保証人ヨリ其事由ヲ詳記シ願出ヘシ

第十六條 疾病又ハ不得止ノ事故ニヨリ欠課セント欲ス

ルルハ保証人ノ捺印セル届書ヲ出スヘシ

但疾病ニヨリ欠課二週間以上ニ涉ルルハ醫師ノ診断書ヲ添ヘ更ニ本文ノ手續ヲ經届出ヘシ

第十七條 授業料ハ一ヶ月管内ノモノ金貳拾錢管外ノモノ金三拾錢トシ毎月之ヲ徴収ス

但貧困ニシテ本文ノ金額ヲ納メ能ハサルモノハ之レヲ輕減シ又ハ免除スルコトアルヘシ

第十八條 欠課全月ニ涉ルモノハ其月ノ授業料ヲ徴收セ

第十九條 休業日ハ左ノ如シ

但臨時休業ハ其都度揭示スヘシ

孝明天皇祭 一月三十日

紀元節 二月十一日

春季皇靈祭 春分日

神武天皇祭 四月三日

神嘗祭 十月十七日

秋季皇靈祭 秋分日

天長節 十一月三日

新嘗祭 十一月廿三日

日曜日及土曜日ノ午後

夏期休業 自七月廿一日至八月三十一日

冬期休業 自十二月二十五日至翌年一月七日

第二十條 生徒學級ノ進止ハ試験ニヨル

第二十一條 試験ヲ分テ臨時試業定期試業卒業試業ノ

三種トス

第二十二條 臨時試業ハ一學年中三回以上臨時之ヲ施行シ生徒ノ席次ヲ定ム

第二十三條 定期試業ハ每學年ノ終リニ於テ施行シ其學年中ニ履修セシ學業ノ成否ヲ判シ以テ學級ノ進止ヲ定メ其及第者ニ乙号証書ヲ付與ス

第二十四條 卒業試験ハ各學科最終ノ學年末ニ於テ其履修セシ學科ノ應用ヲ試験シ合格セシモノニハ甲号証書ヲ付與ス

第二十五條 試験採点等ノ方法ハ別ニ定ムル所ニヨル

第二章 生徒心得

第二十六條 凡生徒ハ學業ヲ勉勵シ規則ヲ遵守スルハ勿

論五ニ信義ヲ以テ交リ言語行狀ヲ慎ムヘシ

第二十七條 院長以下職員ノ教令指揮ハ謹テ之ヲ遵守スヘシ

第二十八條 授業時間外教室ニ出入セント欲スル者ハ教員又ハ看護人ノ許可ヲ受クヘシ

第二十九條 遊戯ハ院内一定ノ場所ニ於テスヘシ

第三十條 生徒出院ノ節ハ課業ニ必須ノ物品並ニ行厨ノ

外一切携帯スルヲ許サス

第三十一條 教員ノ許可ヲ得スシテ授業用ノ器具ヲ教室

外ニ持出スヘカラス

第三十二條 書籍器具ハ一定ノ場所ニ置キ散亂セシムヘカラス

第三十三條 身体衣服ハ清潔ヲ旨トシ衛生ニ注意スヘシ

第三十四條 喫飯ハ食堂ニ入り靜肅ヲ旨トスヘシ

第三十五條 猥リニ集會シテ無益ノ雜談ヲ爲シ又教室外

ニ於テ高聲ヲ發シ或ハ廊下ヲ疾走スル等總テ喧騒ノ舉

動アルヘカラス

第三十六條 院ノ内外ヲ問ハス互ニ金錢及諸物品ノ貸借

交換贈答賣買等ヲ爲スヘカラス

第三十七條 年齢十八歳以上ノモノニ非ラサレハ喫烟ヲ

許サス但喫烟ハ一定ノ場所ニ於テスヘシ

第三章 寄宿舍規則

第三十八條 寄宿舍ニ入舍セシメントスルトキハ父兄又

ハ保証人ヨリ書式第三號ニヨリ願出ヘシ

第三十九條 寄宿料ハ一ヶ月凡金貳圓三拾錢トス

第四十條 舍内ニ於テハ男女各別ニ其室ヲ設ク妄リニ相往來スヘカラス

但遊戯中タリヒ相混淆スルヲ許サス

第四十一條 凡テ舍内ニ外人ヲ誘引スヘカラス

第四十二條 毎朝晨起ノ報號ニテ起床シ直ニ衣帶ヲ整ヘ

室内ヲ掃除スヘシ

第四十三條 就寢ノ報號アルトキハ書籍器具等ヲ收束シ

速ニ褥ニ就クヘシ

第四十四條 起床就寢喫飯等ハ總テ舍長ノ命ニ從フヘシ

第四十五條 外出ハ休業日及毎日放課後トシ歸舍ノ時限

ハ時季ニ從ヒ之レヲ定ム

但特ニ職員ノ許可ヲ得タルモノハ此限ニ非ラス

第四十六條 歸舍ノ時限ニ後ル、モノハ父兄又ハ保証人

ノ捺印セル理由書ヲ出シ指揮ヲ俟ツヘシ

第四十七條 女生徒ハ二人以上同行スルニ非レハ外出ヲ

許サズ

第四十八條 冬夏休業ノ外ハ疾病又ハ不得止ノ事故アル

ニアラザレハ下宿歸郷ヲ許サズ

第四十九條 若シ疾病又ハ不得止ノ事故アリテ下宿歸郷

セント欲スルモノハ日數ヲ豫定シ事由ヲ記シ父兄又ハ

保証人連署願出ヘシ

第五十條 疾病ニテ欠課セントスルモノハ毎朝始業ノ前

ニ於テ舍長又ハ看護人ニ届出ツヘシ

第五十一條 傳染病又ハ重病ニ罹リタルトキハ病院ニ入
ラシメ或ハ下宿歸郷ヲ命スルコトアルヘシ

第五十二條 課業用具ノ外總テ物品ヲ門外ニ携出セ
スルキハ舍長又ハ看護人ノ點檢ヲ受クヘシ

第五十三條 舍内ニ於テハ要用品ノ外所持スルコトヲ許
サス

但貨幣ハ必ス舍長ヲ經テ主計ニ預ク其預リ証ヲ得需
用ノ都度受取ヘシ

第五十四條 舍長又ハ看護人ノ許可ヲ得サレハ舍内ニ於
テ飲食スヘカラス

第五十五條 夜間ハ特ニ靜肅ニシ音曲發聲ハ可及的他人
ノ妨害ニナラサル様注意スヘシ

第五十六條 課業外ノ書籍及音韻圖雜誌ノ如キハ院長ノ
許可ヲ經テ借取ルヘシ又夫所持ノ來ノ閱覽スヘカ
ス

第五十七條 院内及鄰近傍(於テ火災其他非常ノ事起ル
ト雖トモ周章シテ處方請命室ヲ出ルヘカラス必ス職員
ノ指揮ヲ受クヘシ)

書式第一號 申請書
氏名 年 月 日 現在住所

天然痘(種痘) 濟

何歳ヨリ(宣) 啞) 何年何月生

何歳ヨリ(宣) 啞) 何年何月生

何年何月生

廿二年

右今般御院へ入學爲致度此段相願候也

右父兄又は親戚

年月日

誰印

京都府盲啞院長何誰殿

書式第二號

書式第一號 在學證書

男兄弟姊妹

族籍職業何誰何

現在住所

天然痘(種痘)済内(荷歲景寅)等

何年何月生

右般般大學御許可相成候ニ付テ御規則堅固相守候ハ勿

論擬テ立進學裁斷候儀ヲ證書如斯候也

年月日

何誰

前番何誰在學中ハ身上ニ關スル一切ノ事件拙者ニ於テ引

受可申候依テ保證如斯候也

族籍

現在住所

保證人

何

誰

京都府盲啞院長何誰殿

書式第三號

入舍願

何學科何部

廿二年

右御院へ寄宿勤學爲致度尤御許可之上へ寄宿料等ノ諸費
其他一切ノ事件ハ私共引受可申此段相願候也

右父兄又ハ保證人

延寶 月 日

何 誰 印

京都府盲啞院長何 誰 殿

附 屬 人

直 辭 掛 紙

直 辭

京都府立盲啞院
寄宿料等ノ諸費
御許可之上へ
寄宿料等ノ諸費
御許可之上へ
寄宿料等ノ諸費
御許可之上へ

院 印	生 年 月 日	名
族 籍	氏	姓
第 何 年 級	第 何 學 年	科 目
修 了 不	課 程	方 法
年 月 日	修 了 日	修 了 日
京 都 府 立 盲 啞 院 長 氏 名	印	印
番 號	番 號	番 號

廿二年

二百四十五

乙號

番 號	京都府立盲啞院長氏名	年月日	專修科何々第何學年ノ課程ヲ修了ス	院	族籍	證
				印		
				生	名	
				年		
				月		

乙號ノ裏面 甲號以下之
レニ做フ

定期試験成績表	講談	讀方	作文	算術	音曲	体操	平均點	成績點	席次何番但總員何名	毎科定點ヲ一百トス 毎科得點平均六十以上ヲ及第點トス
---------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----------	-------------------------------

甲號

番号	京都府立盲啞院長氏名	年月日	項卒業ヲ証ス	專修科按鍼術中(按腹)ノ一	院	盲生	氏名	生年月	族籍	證
					印					

甲號

番号	京都府立盲啞院長氏名	年月日	尋常科卒業ヲ証ス	院	盲(啞)生	氏名	生年月	族籍	證

甲號

院

氏名
生年月日

修
何
卒業
証

年月日

京都府立盲啞院長氏名

番号

三十四四

三十四

京都府立盲啞院啞生尋常科課程表

通計	體操	裁縫 生女	算術	圖畫	習字	作文	方解書	解說物	學
									年
廿八	三		五	三	四	三	四	六	科
	美遊 容 術		計方 心珠 加減 算算	自在 直線 曲線 及其 單	假 數 楷 書 簡 易 ナル 日 用 漢 字 名	假 名 ノ 單 語 短 句	假 名 ノ 單 語 短 句 字 名 假 名 ノ 單 語 短 句 字 名 假 名 ノ 單 語 短 句 字 名	脩 身 及 作 法 ノ 畧 衣 食 住 ノ 畧	學 年
卅三	同	五	同	同	同	同	同	同	時 週 每
	徒遊 手 體 操	運 易 ナル 針 縫 物 法	心 珠 筆 加 減 算 算	同 直 線 曲 線 ノ 單 形	楷 書 行 書 簡 易 ナル 日 用 漢 字	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 上 人 情 風 俗 職 業 ノ 畧 地 理 ノ 畧	第 一 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	徒 器 手 體 操	通 常 ノ 衣 服 類	心 筆 乘 除 算 算	同 單 形 及 簡 易 ナル 器 具 ノ 類	楷 書 行 書 日 用 漢 字 交 リ 文	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 上 理 科 ノ 畧	第 二 年
廿三	同	同	三	一 五	三	一 五	二	四	同
	用 器 手 體 操	同 上	度 量 衡 貨 幣 應 用 雜 題	同 上	行 書 草 書 口 上 交 リ 文	同 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 上 脩 身 及 作 法 ノ 畧 衣 食 住 ノ 畧 人 情 風 俗 職 業 ノ 畧 理 科 ノ 畧 歷 史 ノ 畧	第 三 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	用 器 手 體 操	同 上	同	同 簡 易	行 書 草 書	同 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 上 脩 身 及 作 法 ノ 畧 衣 食 住 ノ 畧 人 情 風 俗 職 業 ノ 畧 理 科 ノ 畧 歷 史 ノ 畧	第 四 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	第
	同	同	同	同	同	同	同	同	五

京都府立盲啞院啞生尋常科課程表

計	操	縫 生女	術	畫	字	文	書	說	物	年
										時週每
廿八	三		五	三	四	三	四	六		第一
	美遊 容 術		心計 方 珠 筆 算	自在 直線 曲線 及其 單	假 數 楷 書 字 簡 易 ナル 日 用 漢 字 名	假 名 ノ 單 語 短 句	假 名 ノ 單 語 短 句 字 名 書 發 手 勢 法 音 法	衣 食 住 ノ 畧	脩 身 及 作 法 ノ 畧	同
卅三	同	五	同	同	同	同	同	同	同	第二
	徒遊 手 體 操	簡 易 ナル 針 縫 物 法	心 珠 筆 算	同 直 線 曲 線 ノ 單 形	楷 書 行 書 簡 易 ナル 日 用 漢 字	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 手 勢 書 取	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 筆 口 知 言 談 法	同 人 情 風 俗 職 業 ノ 畧 地 理 ノ 畧	同 上	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	第三
	徒 手 體 操	通 常 ノ 衣 服 類	心 筆 算	同 單 形 及 簡 易 ナル 器 具 ノ 類	楷 書 行 書 日 用 漢 字 交 リ 文	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ ノ 短 句 單 語 察 口 書 取	同 漢 字 ノ 單 語 上 簡 易 ナル 漢 字 交 リ 文 筆 口 談	同 理 科 ノ 畧	同 上	同
廿三	同	同	三	一五	三	二五	二	四		第四
	用 器 體 操	同 上	度 量 衡 貨 幣 應 用 雜 題	同 上	行 書 草 書 口 上 交 リ 文	同 簡 易 ナル 漢 字 交 リ 文 口 上 書 類 手 勢 會 話 方 短 句 察 口 書 取	同 漢 字 交 リ 文 口 上 書 類	同 衣 食 住 ノ 畧 人 情 風 俗 職 業 ノ 畧 理 科 ノ 畧 歷 史 ノ 畧	同 脩 身 及 作 法 ノ 畧	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	第五
	同 上	同 上	同 上	同 簡 易 ナル 諸 形	同 行 書 草 書 書 牘 文	同 簡 易 ナル 漢 字 交 リ 文 簡 易 ナル 書 牘 文 手 勢 會 話 法 短 句 察 口 書 取	同 同 書 牘 文	同 普 通 法 令 ノ 畧	同 上	同

(告示第三拾壹號附屬ノ一)

京都府立盲啞院啞生專修科課程表

工藝圖畫		刺繡		裁縫		指物		彫鏤			學年
二	廿	二	廿	三	十九	六	十九	一	二	十九	數時週每
書筆器 臘談 法法具	機紋 樣章	日本畫 四君子	金絲 綴	編物	單衣給綿入ノ類	日本畫器具及摸 樣圖	挽削 リ物物	真行草書	日本畫 四君子	打出彫 彫	第一 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	應用 填畫	植平 物糖	菅粟 織織	編物	小兒洋服 ニシヤツ ンノ使方類	同	机椅子 箱卓ノ 類類類	同	同	真立高 彫上	第二 年
三	廿五	三	四十三	六	四十	同	四十	二	四	四十	同
記事文 作法上	平面粘 土細工	同	同	組物	大人洋服 類上	透 彫	同	同	同	同	第三 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
記事文 作法上	立新真 移意大 小線統 轄ノ注	同	同	折組 物物	同	同	同	同	同	同	第四 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

(告示第三)

京都府立盲啞院啞生專修科課程表

藝圖畫		繡		縫		物		鑄			學年
二	廿	二	廿	三	十九	六	十九	一	二	十九	數時週每
書筆器 贖談 法具	摸樣 紋章	日本畫 四君子	金絲 綴	編物	單衣給綿入ノ類	日本畫器具及摸 樣圖	挽削 リ物	眞行草書	日本畫 四君子	打出彫 彫	第一 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	應用 填畫 上	植 物	平昔罽 糸綴	編物	羽織袴帶ノ類 小兒洋服類 シヤツ ソノ使方	同	机椅子 箱物ノ類	綠同 書上	植同 物上	填立高 彫上	第二 年
三	廿五	三	四十三	六	四十	同	四十	二	四	四十	同
記事文 作法上	平面粘 土細工 山水物 上	動同 物上	綺同 糸綴 上	組物	大人洋服 類上	透 シ彫	類 籐記 引出物 ノ物上	篆同 書上	動同 物山 水上	透肉合 出高 彫上	第三 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
記事文 作法上	立新真移 体粘土細 工按寫法 上	同 上	同 上	折組 物物	同 夜同 具ノ類 上	同 上	棚同 物上	同 上	寫同 生着 色上	象金同 眼銀色 毛合高 彫上	第四 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	寫生 着色 上	同 上	折 物	同 上	同 上	同	同 上	同 上	全同 体 彫上	第五 年

(告示第三拾壹號附屬ノ二)

京都府立盲啞院盲生尋常科課程表

通計	体操	音曲	算術	作文	讀方		講談	學
					科	年		
廿八	三	三	六	四	六		六	學科年
	美遊 容 術	唱 歌	計 心 珠	假名ノ單語書取 假名ノ短句	假名及數字 凸凹木刻字 石筆鉛筆書 練習	假名ノ單語 假名ノ單語	修身及作法ノ話 衣食住ノ話 言辭ノ修正	第一 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同
	徒同 手 体 操	三同 絃上	手 心 珠	漢字ノ單語書取 漢字交リノ短句	篇作 假名符號文字 針跡字堂書及背 書方感覺 目書自感器書練習	漢字ノ單語 漢字交リノ短句 漢字交リノ文	同 人情風俗 職業ノ話 地理ノ話 付推知法	第二 年
同	同	同	同	同	同	同	同	同
	徒美 手 容 体 操	同 上	手 心 珠	漢字交リノ短句 漢字交リノ文	簡易ナル日用漢字 漢字符號文字 針跡字堂書及背 書方感覺 毛筆書練習	漢字交リノ文	同 同上 理科ノ話 付推知法	第三 年
十	同		二	一	二	二	二	同
	同		應 用 雜 題	漢字交リノ文 口上書類		漢字交リノ文 口上書類	修身及作法ノ話 衣食住ノ話 人情風俗 職業ノ話 理科ノ話 付推知法 歷史ノ話 普通法令ノ話	第四 年
同	同		同	同	同	同	同	同
	同		同	書同		書同	國同	第

(告示第三拾番)

京都府立盲啞院盲生尋常科課程表

計	操	曲	術	文	方	談	學
							年
廿八	三	三	六	四	六	六	間時週每
	美遊 容 術	箏唱 歌	手。計 減加 心。 算算珠方	仮名ノ單語書取 仮名ノ短句	短仮數仮 名ノ單 句語字名 感網形字 石筆鉛筆書 練習 凸凹木刻字 仮名及數字	修身及作法ノ話 衣食住ノ話 言辭ノ修正	第一 年
同	同	同	同	同	同	同	同
	徒同 手 体 操上	三同 絃上	手。加 減乘 心。 算算珠	漢字ノ單語書取 漢字交リノ短句	漢字ノ單語短句 漢字交リノ短句 漢字交リノ文 篇作点 仮名符号文字 針跡字掌書及背 書方感覺 目書自感器書練習	同人情 職業ノ風俗 地理ノ話 付推知法	第二 年
同	同	同	同	同	同	同	同
	徒美 手容 体術 操上	同 上	手。乘 除 心。 幣子算盤使用方 算算珠	漢字交リノ短句 漢字交リノ文	漢字交リノ文 簡易ナル日用漢字 漢字符号文字 針跡字掌書及背 書方感覺 毛筆書練習	理科ノ話 付推知法	第三 年
十	同		二	一	二	二	同
	同 上		應同 用 雜 題上	漢字交リノ文 口上書類	漢字交リノ文 口上書類	修身及作法ノ話 衣食住ノ話 人情ノ話 職業ノ話 理科ノ話 歷史ノ話 普通法令ノ話 付推知法	第四 年
同	同		同	同	同	同	同
	同 上		同 上	同 書 版 文上	同 書 版 文上	國民ノ心得話 同 上	第五 年

(告示第三拾壹號附屬ノ三)

京都府立盲啞院盲生專修科課程表

音 曲		術 範 按				學 年 學 科
		談 講	治 範	服 按	摩 按	
一		十五	六	十二		間時週每
音曲論大意		三 箏 絃 平 表 平 物 組 物	解生 剖理 大大 意意		前 手 年 期 術	第一 年
同		同	同	同		同
歌同 詞 解 義上		三 箏 絃 表同 同 組上 上	同 上	前 手 年 期 術	後 手 年 期 術	第二 年
同	二	同	同	同		同
同 上	西洋 樂器 拔方	胡三 箏 弓絃 同 平 物上 許 物 物 上 許 物 物 上 許 物	病同 理 大 意上	前 手 年 期 術	後 手 年 期 術	第三 年
同	同	同	同	同		同
同 上	橫 瑟 笛 瑟 八 尺 雲 八	胡三 箏 弓絃 同 平 物上 許 物 物 上 許 物	實同 理 討 論上	後 手 年 期 術		第四 年
同	同	同	同	同		同

(告示)

京都府立盲啞院盲生專修科課程表

曲		談講	治鍼	服按	磨按	年
						科
一	十五	六	十二			冊時週每
音曲論大意	三絃 絃 平表平 物組物	解生理 剖理 大大 意意			前 手 年 期 術	第一 年
同	同	同	同			同
歌同 詞 解 義上	三絃 絃 表同同 組上上	同上		前 手 年 期 術	後 手 年 期 術	第二 年
同	二	同	同			同
同 上	西洋樂器 胡三絃 弓絃 平同許 物上物 物許物	病同 理 大 意上	前 手 年 期 術	後 手 年 期 術		第三 年
同	同	同	同			同
同 上	橫琵琶 尺八 雲琴	胡三絃 弓同 同上 同上 裏組	實同 理 討 論上	後 手 年 期 術		第四 年
同	同	同	同			同
同 上	須月 廣琴 琴 廿五 絃琴	胡三絃 弓同 同上 同上 許物 中組				第五 年

(告示第三拾壹號附屬ノ四)

告示第百拾五號 四月六日

本府醫事院附屬産婆教習所ヲ設置シ規則別紙
之通相定ム

但本文教習所卒業試験ノ節主務官吏ヲ立會セシメ別ニ
開業試験ヲ須ルモ當廳ノ免狀ヲ付與シ又ハ該試験答案
ヲ都内務省ヘ具狀シ同省免狀ヲ下付セラル、コトア
ル

京都府醫事院附屬産婆教習所規則

第一條 本所ハ産婆學ヲ授ケ産婆ヲ養成スル所トス
第二條 本所ニ入ルル者得ルモ十八年齢二十年以上ノ婦
女體格健康高等小學校ノ卒業證書ヲ有スルモノ及ヒ試
験ノ上之ニ相當ノ學力アリト認めタル者ニシテ品行端

廿二年

二百五十一

正ナルモノトス

第三條 教習年限ハ滿一ヶ年トナシ之ヲ別テ二期トス

第四條 教習ハ四月ニ始メ翌年三月ニ了ルモノトス

第五條 教習時間ハ一週凡二十四時トス

第六條 生徒募集ハ每學年ノ始トス

第七條 教習料 每一ヶ月金五拾錢

第八條 休日

大祭祝日 日曜日 夏期七月十一日ヨリ

一月一日ヨリ十五日迄

十二月十五日ヨリ三十一日迄

期末試験前一週日 后三日

第九條 願書式

本籍并某妻姉妹等ノ別

姓名

生年月

私儀産婆志願ニ付入所請願候也

現住所

姓名印

京都府産婆教習所御中

前書之者品行端正ニシテ曾テ不都合之廉無之候條尤入所御認許之上ハ本人ニ係ル一切ノ事件拙者辨理可致此段併セテ保証候也

本籍又ハ

身分姓名印

廿二年

二百五十三

第十條 半途退學ヲ請フモノハ其事由ヲ詳記シ保証人連署出願スヘシ

第十一條 婦徳ヲ紊リ其他婦人ノナスマシキ所業アリト認定セザルハ退所セシム

第十二條 課程

第一期 豫備論 人體ノ 順産論 正規妊娠 正規分娩 實習

第二期 異常産論 分娩異常 妊娠異常 産婆職務 實習

第十三條 實習ハ本校クリニコ産婦平均五日及府立療病院外來産婦其他一般往診産婦ニ就キ教習生三人ヲ一組ト定メ第一期ニ於テハ産婦二十人巳上第二期ニアリテ

第十四條 試驗

月次 期末 卒業

一月次試験ハ其月中教習セシ所ノモノヲ試験シ其成績

ニ就キ席次ヲ更定シ及期末試験ノ點數ニ算入スルモノトス

一 期末試験ハ其期中教習セシ所ニ就キ該期ノ及落第ヲ

定ムルモノトス

一 卒業試験ハ二期及第后全期教習セシ所ノモノヲ試験スルモノトス

但落第者ハ再試験ヲ受クルヲ得ルモ尙及第スル能ハサルモノハ退所ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條 試驗點數

凡ヲ試驗ノ點數ハ甲乙丙丁戊ノ五格トシ丙以上ニ充クサルモノハ落第トス

甲 五點 乙 四點 丙 三點

丁 二點 戊 一點

第十六條 卒業試驗及第ノ者ハ左ノ証書ヲ附與ス

証

何府縣

全成績

身分

某

年 齡

右本所産婆學第何期業試驗及第セリ

年号月日

京都府産婆教習所印

告示第四十號 五月 對 試驗點數

不京區選出府會議員ノ内三名欠員ニ付去月廿日補欠選舉

會開設ノ處左ノ適當選就職セリ

不京區魚棚通室町西入西魚屋町

不京區西中筋御前通下ル丸屋町

同區新之町蛸藥師下宮本町

猪 上 能 貞

同區新之町蛸藥師下宮本町

林 長 次 郎

右告示ス

告示第四拾壹號 五月

京都大林區署宮津派出所ヲ丹後宮津町字京街道十四番戶

廿二年

二百五十七

ニ設置シ丹後全國官林ヲ管轄シ本月十日ヨリ開廳以畿京
都大林区署長ニ通知アリタリ

右告示ス

告示第四拾貳號 五月七日

丹後國加佐郡舞鶴町平民

竹内厚姉

尋常師範學校元二年生 竹内 みる

右之者本府尋常師範學校在學中不都合之行為アル者以自
今府下公私立學校ニ入學學禁止ス

右告示ス

告示第四拾三號 五月八日

京都府尋常中學校規則別紙之通相定ム

右告示ス

(別紙)

京都府尋常中學校規則

主旨

第一條 本校ハ中學校令ニ基キ尋常中學校科ヲ授クル所ト

ス

學科及課程

第二條 修學年限ヲ五年トシ一ケ年ヲ以テ一級トス

第三條 各級ノ學科課程及教科用圖書別表ノ如シ

學年學期及休業

第四條 學年ハ九月一日ニ始リ翌年七月十五日ニ終ル

第五條 學年ヲ分クテ三學期トシ第一學期ハ九、十、十一、

廿二年

第五條 月曜日第二學期ヲ十二、一、二、三、ノ四月月曜日第三學期ヲ四、五、六、七、八、四、月下、五、六、七、八、九、十、十一、十二、月、

第六條 本校休業日左ノ如シ

第一條 孝明天皇祭 二月廿一日

第二條 元節 正月一日

春季皇靈祭 三月廿一日

神武天皇祭 三月廿九日

秋季皇靈祭 十月廿一日

神嘗祭 十月廿三日

霜降天皇長中節 十月廿五日

嘗新嘗祭 十月廿七日

嘗日曜 日

國御月曜四日 廿八日

夏期休業 七月十六日迄

冬期休業 十二月廿五日迄

但臨時休業 其時々揭示ス

入學在學及退學

第七條 入學ハ學年ヲ始トス

但欠員アルハ臨時ニ補欠生ヲ募集スルコアルベシ

第八條 入學ヲ願フ者ハ書式第一號ニ據リ願書并ニ履歷

書ヲ出ス

第九條 入學試験料金五拾錢トス

但入學願書ニ添付テ出願スルハ品行端正身體健康

第十條 第五級ニ入ルコトヲ得ルキ者ハ品行端正身體健康

年齢満十二年以上十七年以下ノ男子ニシテ入學試験ニ合格シタル者トシテ其他ノ級ニ入ルコトヲ得ヘキ者ハ前文ニ準シ其級相當ノ試験ニ合格シタル者トス

第一項 第五級ニ入學試験ノ學科目左ノ如シ

漢文 講義 作文 漢字 交リ文

英語 綴字 單綴及二綴音 一ナシヨナル第二第三讀本 譯解 全書

算數 比例 諸法

習字 和習字 楷書 第二習字帖

圖書 單形 廿八日

体操 輕体操

右諸科目評點最高點ヲ一百分ニ平均數六十點以上ヲ得ル者ヲ合格トス

第二項 第四級以上入學試験ノ學科目ハ其學年以前ニ於テ履修スルキ本校所定ノ諸科目ヨリ其合格不合格ハ前文ニ準シテ判定ス

第十一條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ丁年以上ニシテ京都府市内ニ一家計ヲ立ル者二名ヲ以テ正副保証人トシ書式第二號ニヨリ在學書ヲ出スルモノニシテ

但副保証人ハ生徒ノ父兄タルモ妨ケナシ

第十二條 保証人宿所ヲ轉セシ時ハ速ニ届出スルモノニシテ

第十三條 保証人印章ヲ改メタルトキハ其旨届出スルモノニシテ

廿二年

第十四條 保証人死亡若シクハ京都市外へ轉居シ或ハ止

シ得サル事故ニ因リ保証ヲ辭スル時ハ更替後任ヲ撰ヒ

他ノ保証人連署ヲ以テ届出ベシ

但正保証人ノ場合ニ於テハ在學證書ヲ更正スベシ

第十五條 卒業ヲ待ラス退學セシムル者ハ其事由ヲ

記載シ正副保証人連署ニテ願出ベシ

授業料吸書籍見料

第十六條 授業料ハ一月金一圓ト定メ毎月分ヲ其前月

廿五日(九月五日)迄ニ徴取ス

但全月欠席スル者ハ免除ス

第十七條 書籍ヲ借用スル者ハ毎月見料トシテ元價ノ四

十分一ヲ計係へ納ムベシ

試業及學業證書

第十八條 試業外分ヲ臨時學期學年ハ三種トシ

第六項 臨時試業ハ各學科進歩ノ程度ニ從ヒ各教員ノ

見込ニテ以テ一學期內ニ一回以上之ヲ行フモノトス

但事宜ニ因リ試業ヲ行ヒ難キモノハ教員ノ見込ヲ

以テ之ヲ除クニ妨メナシ

第二項 學期試業ハ第一第二學期ノ終リ一週間內ニ於

テ本學期中履修セシ諸科目ノ試業ヲ行フモノトス

第三項 學年試業ハ每學年ノ終リニ於テ本學年中履修

セシ諸科目ノ試業ヲ行フモノトス

第十七條 學年試業ニ合格シタル者ニ對シテ書式第三號全科

卒業ノ者ニ對シテ書式第四號卒業證書ヲ附與ス

學業ノ學業成績點及等級進退ニ關スル事

第二十條 學業成績點ヲ左ノ七項ニ區別スルモノ之ヲ日課點ト

第一項 某學科日課ノ成績ニ附スルモノ之ヲ日課點ト

第二項 某學科臨時試業ノ成績ニ附スルモノ之ヲ臨時

試業點トスルモノ之ヲ臨時試業點トスルモノ之ヲ臨時

第三項 某學科學期試業ノ成績ニ附スルモノ之ヲ學期

試業點トスルモノ之ヲ學期試業點トスルモノ之ヲ學期

第四項 某學科學年試業ノ成績ニ附スルモノ之ヲ學年

試業點トスルモノ之ヲ學年試業點トスルモノ之ヲ學年

第五項 學年中某學科ノ日課臨時及ヒ學期試業ノ各平

均點ヲ合計シテ之ヲ學年試業點ト加ヘ四除(臨時試業ハ

除ク)

第三條 凡ソル高シ學年修業點トス

第六項 各生徒學年中出席ノ成績ニ附スルモノ之ヲ出

席點トスルモノ之ヲ出席點トスルモノ之ヲ出席點トス

第七項 各學科學年修業點及出席點ヲ合計シ之ヲ平均

點トシテ之ヲ學年修業成績點トスルモノ之ヲ學年修業

成績點トスルモノ之ヲ學年修業成績點トスルモノ之ヲ

學年修業成績點トスルモノ之ヲ學年修業成績點トスル

第十條 凡ソル本項ノ平均點ニ減ズルモノトスルモノ

第十一條 學科ノ成績點ハ一宿毎以テ最高點トスル

第十二條 出席點ハ毎時一百ヲ以テ最高トスルモノ

第十三條 凡ソル學科學年修業成績點六十分以上ヲ得ル

第十四條 凡ソル學科學年修業成績點六十分以上ヲ得ル

但本文成績點六十以上は此モ一科目三十五點未滿二

第廿四條 總評試業ニ欠課セシモノハ其課ニ附スルニ

第廿五條 學年又ハ學期試業ニ欠席セシ者ハ教員ノ見込

ニテモ之ニ限リ既得點平均六十以上ナルトキハ補欠

試業ヲ受ケル得ルヲ得ル。但本文補欠試業ヲ受ケタル課目ハ其得點ヲ以テ前條

第廿六條 一學年内欠課其半年以上或ハ學期試業ニ於テ

同科目二回欠席スル者ハ其事故ノ何レナルヲ問ハズ學年

試業ヲ受ケルヲ得ス

第廿七條 學年試業之後各自生徒ノ學科成績ヲ保証人或

ハ父兄ノ許ヘ報知スルコトアルベシ

第廿八條 本校ノ生徒タル者ハ都テ左ノ諸項ヲ服膺スベ

第一項 凡テ生徒ハ校則ヲ遵奉スルハ勿論其他時々論

第二項 職員又ハ教員ノ訓戒ヲ蒙ル時ハ謹テ其旨ニ遵

第三項 言語品行ヲ慎ミ專ラ學業ヲ勉勵スベシ

第四項 交際信義ヲ重シ友誼ヲ失フベカラズ

第五項 凡テ長上ニ對シ敬禮ヲ欠クベカラズ

廿二年

第六項 教員ノ許可ヲ得テ教室ヲ出入スベカラス

第七項 教授用ヲ供スル書籍器械ヲ私ニ使用スヘカラ

第八項 昇校ハ勿論總テ外出時ハ本校所定ノ帽ヲ戴ク

第九項 課校中ハ本校所定ノ洋服ヲ着スヘシ若シ和服

第十項 携帶スル所ノ書籍器械等ヲ錯亂スルコトナ

第十一項 身體衣服ハ常ニ清潔ヲ旨トシ虚飾華美ニ流

第十二項 學業ヲ怠ラズ無益ノ雜話ヲ爲シ他人ヲ勸學

ヲ妨クヘク事

第十三項 校内ノ整肅ヲ旨トシ粗暴ノ舉動ヲ爲スヘカ

第十四項 校内ノ樹木ヲ傷害シ瓦石ヲ擲ツ等總テ不良

第十五項 校外ニ在ル時ト雖モ本校ニ生徒タル体面ヲ

汚ス如キ所行ヲ爲スヘカラス

第十六項 右ノ諸項ニ違背セシ者ニハ失職ヲ附シ又ハ懲

第十七項 戒シ或ハ第四十條ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第三十條 疾病又ハ止病得ル事故ニテ一日又ハ二日間
欠課スル者ハ保証人捺印セル届書ヲ當日又ハ翌日内ニ

生徒取締へ出外スルハ、
 第卅一條 疾病事故ニ因テ三日以上欠課セシト欲スル者ハ其事由ヲ記載シ日數ヲ豫定シ保証人捺印セル届書ヲ生徒取締へ出スルニシテ、
 但病氣ニテ欠課一週間ヲ過ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
 第卅二條 止ヲ得サル事故アリテ正課中半途ヨリ欠課セシト欲スル者ハ保証人捺印セル届書ヲ生徒取締へ出スルニシテ、
 但臨時疾病事故ノ場合ニハ其旨直チニ生徒取締へ申出スルニシテ、
 入舎及在舎

第卅三條 本籍京都市外ニ在リ又ハ一戸市内ニ寄留セサル家ノ子弟ハ必本校ノ寄宿舍ニ入ルモ、
 但本籍市内ニ在ル親族方ニ寄留スル者若クハ本校近傍ノ村落ニ住居スル家ノ子弟ハ願ニヨリ通學ヲ許ス
 第卅四條 本籍京都市内ニ在リ又ハ一戸市内ニ寄留スル家ノ子弟ニシテ入舎志願ノ者ハ書式第五號ニ據リ願出
 第卅五條 入舎生ハ凡テ書式第六號ノ在舎証書並ニ保証人ノ印鑑ヲ出スヘシ
 寄宿生徒心得
 第卅六條 寄宿生ハ左ノ諸項ヲ守ルヘキハ勿論其他諸事

寄宿舎取締示 從テ取ルベシ
第一項 身体衣服ヲ潔クシ飲食ヲ慎ミ衛生ニ注意スヘ

第二項 寄宿舎取締ノ指定シタル室ニ居ルベシ

第三項 放歌吟咏遊戯奔走雜談高笑等總テ他人ノ勉學
ヲ妨ル如キ粗暴ノ舉動ヲナスヘカラス

第四項 小説稗史等ヲ閱覽スヘカラス
但新聞雜誌ヲ購讀セント欲スル者ハ寄宿舎取締ノ

許可ヲ受クベシ

第五項 金錢衣服ヲ貸借スヘカラス

第六項 凡テ爭論ヲ禁スルハ勿論假令學術上ノ討議
トモ高聲ヲ發スルハ勿ラズ

第七項 來訪者ニハ應接所ニ於テ面會ス可シ

但病氣ニテ該所ニ出ルヲ能ハサル者寄宿舎取締ノ
指揮ヲ乞フヘシ

第八項 起臥喫飯自修入浴等ハ時々揭示スル時限ヲ守
ルベシ

第九項 晨起ノ報ヲ聞カハ直チニ衣休ヲ正シ室内ヲ掃
除スヘシ

第十項 就寝ノ報ヲ聞カハ直チニ書籍器具ヲ収束シ爐
ヲ消シ燈ヲ滅シテ褥ニ就クヘシ

第卅七條 校外出下舎病氣等ニ關シテハ左ノ諸項ヲ守ルヘ
シ

第一項 校外散步ハ休業日及ヒ水曜土曜日ノ正課后
日

リ自修時間迄於テスルモノトス

第二項 外出スル時ハ必ス洋服ヲ着シ容儀ヲ端クシ殊

ニ舉動ヲ慎ムヘシ

但止ヲ得サル場合ニテ和服ヲ着用セントスルルハ

其旨寄宿舎取締ニ申出許可ヲ受クヘシ

第三項 散步日ノ外止ヲ得サル事故アリテ外出セント

欲スル時ハ其旨書面ヲ以テ申出テ指揮ヲ受クヘシ

第四項 外出中發病或ハ止ヲ得サル事故アリテ歸舎門

限ニ後ル者ハ其事由ヲ詳記シタル保証人ノ証書ヲ

寄宿舎取締ニ出スヘシ

但本文ノ証書ヲ有スルモ定時鎖門后ハ校門ニ入ル

ヲ許サス

第五項 外泊セント欲スル者ハ其事由并ニ宿泊ノ所ヲ

詳記シ寄宿舎取締ニ申出許可ヲ受クヘシ

第六項 總テ外泊セント者ハ歸校ノ節必ス保証人ノ証明

書ヲ携持スヘシ

第七項 疾病或ハ事故ニテ下舎又ハ歸郷セント欲スル

者ハ其事由ヲ詳記シ日數ヲ豫定シ正副保証人ノ連署

セル願書ヲ寄宿舎取締ニ出スヘシ

但病氣ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第八項 外泊一週間ヲ過ル時ハ第七項ノ手續ヲ經テ下

舎願ヲ出スヘシ

第九項 物品ヲ携出セント欲スル者ハ其品目ヲ詳記セ

ル書面ニ寄宿舎取締ノ捺印ヲ受ケ之ヲ守門者ニ出ス

第十項 下舎中若シ用事アリテ舎内ニ入テ要スル者ハ

寄宿取締ノ許可ヲ受クヘシ

第十一項 冬夏休業中ハ凡テ歸省或ハ外宿シ起業前三

日間ニ歸舎スヘシ

但外宿スル者ハ其宿所ヲ届出ヘシ

第十二項 病氣或ハ事故ニテ欠課セシト欲スル者ハ其

時間前ニ届書ヲ寄宿舎取締ニ出スヘシ

第十三項 病氣ニテ一時間タリヒ欠課セシ者ハ當日校

外散步ヲ許セズ

第十四項 傳染病ハ勿論重病ニ罹リタル者ハ醫師ノ指

圖ニ依リ下舎ヲ命スル事アルモシ

第十五項 舎内ノ風致ヲ亂スト認ムルモノハ下舎申付

保証人ニ托スル

第十八項 若シ定ルル條項ノ外寄宿舎管理上ノ便宜ヲ謀

ル會長副會長ヲ罷除別ニ定ル所ノ條規ニ據ラシム

第十九條 寄宿生學資金ニ關シテハ左ノ諸項ヲ守ルヘシ

第一項 凡テ學資ハ本校司計係ヘ委託シ平常自ラ金錢

ヲ所持スヘカラス

第二項 前項學資金ハ授業料及食料其他小遣ヲ合セテ

豫メ司計係ヘ預ケ置クヘシ

第三項 寄宿生ノ父兄本校近傍ニ住居シ學資ノ保管ヲ

自ラ負擔セシト欲スル者ハ願ニ依リ之ヲ許スコアル

第四項 前項ノ場合ニ於テハ本校ヘ納付スル金員(授業料食料ノ類)ハ負擔人ヨリ直ニ司計係ヘ差出シ決テ本人ヘ渡スベカラス

第五項 右學資金預リ渡シノ手續ハ別ニ細則ヲ設ク
停退學及除名

第四十條 校則ニ違背シ或ハ取締上不都合ナル者ハ停學又ハ退學ヲ命ス尤モ退學ノ者ハ其情狀ニ據リ一般ノ學校ヘ入學禁止ノ處分ヲ其筋ヘ具申スヘシ

第四十一條 二ヶ月間無届欠席シ又ハ一學年間欠席セシ者ハ本校生徒ノ名籍ヲ除ク

第四十二條 授業料徴收定日ヨリ一週間ヲ過クルモ尙之ヲ納メザル者ハ就學ヲ停止シ又ハ情狀ニ據リ退學ヲ命ス

スル事アルヘシ

第四十三條 學業遲滞ニシテ卒業ノ見込ナキ者ハ論シテ退學セシムルコトアルベシ

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

國朝

尋常中學科課程表

計	體操	圖畫	習字	化學	物理	博物	數學	歷史	地理	獨語	英語	國語	倫理	學級
														時間 每週
三〇	二	一	一				六	一	一		十二	五	一	第五級
	輕體操	自在畫	楷書				代算數	日本歷史	日本地理		讀方會話 譯文會話 綴文法	講讀漢字及漢文 作文書信及漢文	孝行友愛ノ格言 事實ヲ授ク	時間 每週
三〇	二	一	一				六	一	一		十二	五	一	第四級
	前級ニ同シ	前級ニ同シ	草書 細字連寫				幾代何數	萬國歷史大畧	萬國地理		讀方會話 綴文法	講讀漢文 作文漢字及漢文	交誼立志ノ格言 事實ヲ授ク	時間 每週
三〇	二	二		二		二	六	一	一		八	五	一	第三級
	兵式	自在畫 用器畫		無機化學		二生理及衛生	幾代何數	支那歷史	地文		讀方會話 綴文法	講讀前級ニ同シ 作文前級ニ同シ	勤學忍耐ノ格言 事實ヲ授ク	時間 每週
三〇	三	二			二	一	五	一	一	四	六	四	一	第二級
	兵式	前級ニ同シ 寫生			音物性力學 熱	一植物	幾代何數	日本歷史	日本地文及 政治地理	綴譯會話 綴譯會話 綴譯會話	讀方會話 綴文法	講讀漢文 作文前級ニ同シ	勤儉禮讓ノ格言 事實ヲ授ク	時間 每週
三〇	三	二			二	一	五	二		四	六	四	一	第一級
	兵式	前級ニ同シ 寫生			磁光 石越 天象	一動物 物	三代何數	萬國歷史		綴譯會話 綴譯會話 綴譯會話	讀方會話 綴文法	講讀前級ニ同シ 作文前級ニ同シ	忠節齊家ノ格言 事實ヲ授ク	時間 每週

(告示第四拾三號附屬ノ一)

假教科用圖書各級配當表

學科	級	倫理	國語	漢文	英語	獨語	地理	歴史	算術	博物	物理	化學	習字	圖畫	
		小學 外篇	講讀 漢字交リ文 用書未定	日本外史	讀方及譯解 ニユーナシヨナル 第三 第四 讀本 スウホントン氏 小 文 典	日本地理 山田行元中地理書 第二卷 ヨリ 第四卷 マテ	日本歴史 明治國史畧	算數 ロビンソン氏 實用算術書 ト、ハンダー氏 小 代 數 書	博物	物理	化學	習字	圖畫	文部省版 小學習畫帖	全 上
小學 內篇	講讀 日本語別記 かきつかひ 十 八 教 科 畧 書	讀方及譯解 ニユーナシヨナル 第五 讀本 ユニオン 第四 讀本 スウホントン氏 大 文 典	萬國地理 ミツチエル氏 中 地 理 書	萬國歴史 バリー氏 萬 國 史	代數 全上 幾何 ウキルソン氏 平 面 幾 何 學	生理 ハクスレー氏 中 生 理 書	化學 初步 ラスコー氏	讀方及譯解 マコーレー氏クライ ブ及ワレンヘイス チングス傳 スウホントン氏 大 文 典	地文 ケイキイ氏 地 文 學	支那歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	植物學 初步 スタニアート氏	全 上	全 上
論語 一二	講讀 和文讀本 本朝文範	講讀 和文軌範 正文章軌範	日本歴史 日本歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	化學 初步 ラスコー氏	讀方及譯解 マコーレー氏クライ ブ及ワレンヘイス チングス傳 スウホントン氏 大 文 典	地文 ケイキイ氏 地 文 學	支那歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	植物學 初步 スタニアート氏	全 上	全 上	
論語 三四	講讀 和文軌範 正文章軌範	講讀 和文軌範 正文章軌範	日本歴史 日本歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	化學 初步 ラスコー氏	讀方及譯解 マコーレー氏クライ ブ及ワレンヘイス チングス傳 スウホントン氏 大 文 典	地文 ケイキイ氏 地 文 學	支那歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	植物學 初步 スタニアート氏	全 上	全 上	
論語 三四	講讀 和文軌範 正文章軌範	講讀 和文軌範 正文章軌範	日本歴史 日本歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	化學 初步 ラスコー氏	讀方及譯解 マコーレー氏クライ ブ及ワレンヘイス チングス傳 スウホントン氏 大 文 典	地文 ケイキイ氏 地 文 學	支那歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	植物學 初步 スタニアート氏	全 上	全 上	
學	講讀 謝 孟	講讀 謝 孟	日本歴史 日本歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	化學 初步 ラスコー氏	讀方及譯解 マコーレー氏クライ ブ及ワレンヘイス チングス傳 スウホントン氏 大 文 典	地文 ケイキイ氏 地 文 學	支那歴史 元 明 清 史 畧 及	代數 全上 幾何 全上	植物學 初步 ハクスレー氏	植物學 初步 スタニアート氏	全 上	全 上	

(告示第四拾)

假教科用圖書各級配當表

級	理	語	文	語	語	理	史	術	物	理	學	字	畫
第五級	小學 外篇	講讀 漢字交リ文 用書未定	日本外史	讀方及譯解 ニエーナシヨナル 第三 第四 讀本 スウフントン氏 小 文 典	日本地理 山田行元中地理書 第二卷 ヨリ 第四卷 マテ	日本歴史 明治國史畧	算數 ロビンソン氏 代數 實用算術書 ト、ハンター氏 小代數書					菱湖卷ノ下 秣陵帖	文部省版 小學習畫帖
第四級	小學 内篇	講讀 日本語別記 日本語彙別記 かきつかひ 教科書 十八 史科畧	讀方及譯解 ニエーナシヨナル 第五 讀本 ニエーナ 第四 讀本 スウフントン氏 大 文 典	萬國地理 ヨツチエル氏 中地理書	萬國歴史 バーレー氏 萬國史	代數 全上 幾何 ウキルソン氏 平面幾何學						秣陵帖	全上
第三級	論語 一二	講讀 和文讀本 本朝文範	譯解 マコーレー氏クライ ブ及ワーレンヘイス チングス傳 スウフントン氏 大 文 典	地文 ナイキイ氏 地文學	支那歴史 十八 史畧及 元明清史畧	代數 全上 幾何 全上	生理 ハクスレー氏 中生理書				ロスコイ氏 化學 初步		カツサン氏 畫學本 平瀨氏 用器 講本
第二級	論語 三四	講讀 和文軌範 正文章軌範	講讀 ワシントンフアービン グスケツチブツク及 ギョソソソ氏ラセラ ス コツクス氏 修 辭 書	日本地文及政治地理 未 定	日本歴史 日本文明史略	代數 ト、ハンター氏 代數書二次方程式 幾何 ウキルソン氏 立体幾何學	植物學 初步 植物 クレー氏				スチユアイト氏 物理 初步		全上ノ續キ
第一級	學 席	講讀 謝選拾遺 孟子	講讀 セブンブリチツシユ クラシツクス及マコ ーレー氏ミルトン傳 ベルフアストアツド レス	ヘステル氏 第四 讀本 セーヘル氏 文 典	萬國歴史 スウフントン氏 萬國史	代數 全上 三角 法 ト、ハンター氏 小三角法	動物 ニコルソン氏 動物學 未定				全上		フォスール氏及 コリンズ氏 畫字手本ニヨル

(告示第四拾三號附屬ノ二)

書式

第一號

用紙美濃紙一通

學願 住所族籍家職業(寄留人ナレハ寄留)

所共(戶主ニテラサレハ某男又ハ弟)

何 某

誕生年月 當年 月

私儀今般御校第何級ニ入學致度仍テ學業履歷書并ニ既
痘証相添此段相願候也

願人 何 某 印

住所族籍

何 某 印

廿二年

三百八十三

京都府尋常中學校長何龍殿

履歷書

學業

一何年何月何地(私公)立何學校ニ入り何級迄修業或ハ卒業

一何年何月ヨリ何年何月迄何某ニ就キ何學修業

用書何々

賞罰

一年月何所ニ於テ何事ニ付賞ヲ受ク若シハ罰ヲ蒙リシ

等

右之通

住所族籍

何 某 印

年 月 日

第二號

在學証書

用紙美濃野紙一通印紙貼用

私儀今般入學御許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守候

ハ勿論猥リニ退學轉學等致問敷候仍テ証書如此候也

住所族籍家職業(寄留人ナレハ寄留所共)

戸主ニアラサレハ某男又ハ弟

何 某 印

年 月 日

當 年 月 日

京都府尋常中學校長何龍殿

前書某在學中一切ノ事件ハ私共引請可申依テ保証如此

候也

住所族籍

正保証人

何 某 印

全

廿二年

副保証人

何 某 印

第三號

第四號

族籍	姓名	年齢
右者本校第 年ノ學科		
ヲ履修シテ試業ヲ完了セ		
リ依テ之ヲ証ス		
年月日		
京都府尋常中學校		

族籍	姓名	年齢
右者本校毎學年ノ學科		
ヲ修メ茲ニ試業ヲ全フ		
セリ依テ之ヲ証ス		
年月日		
京都府尋常中學校		

第五號

入 舍 願 用紙美濃野紙一通

私儀今般入舍致度此段相願候也

第何年生

年 月 日
 願 人 何 某 印
 住 所 族 籍 何 某 印
 正 保 証 人 何 某 印
 全

副保証人 何 某 印

京都府尋常中學校長何龍殿

第六號

在 舍 證 書 用紙美濃野紙一通印紙貼用

廿二年

二百八十七

私儀今般御校寄宿舎へ入舎仕候ニ付テハ殊ニ品行ヲ慎
御舎則堅ク相守リ可申候依テ証書如此候也

年月日

何 某 印

年 齡

京都府尋常中學校長何誰殿

前文何某在舎中一切ノ事件ハ私共負擔可致候萬一退舎
又ハ下舎被命候節ハ速ニ引取可申候依テ証書如此候也

住所族籍

正保証人 何 某 印

副保証人 何 某 印

豫備科規則

第一條 豫備科ハ本科第五級ニ入學セント欲スルモノ、

爲メ必用ナル學科ヲ授クモノトス

第二條 修學年限ヲ一ケ年トス

第三條 學科課程及教科用圖書別表ノ如シ

第四條 豫備科ニ入ルモノハ品行端正身體健

康年齢滿十一年以上十七年以下ノ男子ニシテ左ノ試験

ニ合格シタルモノトス

入學試験ノ學科目左ノ如シ

漢文 講義ノ書漢字交リ文

英語 綴字 單綴及二綴音

告示第四拾四號 五月九日

今般町村制施行ニ付數町村合併ニ係ル向ハ土地ニ關スル
願届上中等ニ舊町村名ヲ大字トシ從來ノ字ヲ小字トシ自
今左ノ通記載スヘシ

何郡何町村

大池上龜岡町ノ字 大上矢田
小何々(仮令ハ淀町ノ字 小何々
記スヘキカ如シ)何番

右告示ス

告示第四拾六號 五月二十日

下京警察署屬四條巡查派出所ヲ京都市下京區東洞院通錦
小路下ル坂東屋町へ移轉シ坂東屋町巡查派出所ト改稱ス
右京都市へ告示ス

告示第四拾八號 五月十一日

南桑田郡外五郡徵兵參事員左ノ通常選挙	垂水新太郎
南桑田郡 龜岡町字河原町	中川 禎輔
全 郡 馬路村	中川 敬造
全 郡 全郷村	關 攝
全 郡 河原林村字勝林島	大槻 藤左衛門
何 郡 綾部町字本宮町	猪 間 一夫
全 郡 吉美村字多田	大槻 理三郎
全 郡 綾部町字本宮町	横 上 賴夫
全 郡 以久田村字位田	芦田 鹿之助
天 田 郡 中六人部村字宮	田 中 喜 間 太
全 郡 西中筋村字興	

廿二年

二百九十三

全	郡	上川口村字野花	小中田	航
全	郡	福知山町字鍛冶町	大志間	總右衛門
中	郡	五久村字二箇田	野木	儀右衛門
全	郡	河邊村	瀧野	平左衛門
全	郡	五十河村字明田	淺田	佐兵衛
全	郡	大野村字奥大野	川口	藤左衛門
竹野	郡	徳光村	永島	勝治
全	郡	米津村	谷口	仁平
全	郡	澤谷村	行待	六郎兵衛
全	郡	島津村	足達	又八郎
全	郡	久美濱村	稻葉	收八
全	郡	全	西垣	虎吉

全 郡中上佐渡村字野中 奥田新之丞
 全 郡川上村字布袋野 飯室九郎左衛門

右告示 第五拾九號 五月廿三日

本年三月告示第十六號ヲ以テ告示セシ府會議員補欠員左ノ適當選就職セ

全	郡	船井那本庄村字西田	小早川	彦六
全	郡	相樂郡棚倉村字綺田	芳田原	成
全	郡	右告示以		

告示第五拾號 五月廿三日 二百九十五 廿二年

北桑田郡外三郡徵兵參事員左之通當選ス

北桑田郡宇津村

安田 耕平

全 郡平屋村

原田 九左衛門

全 郡山國村

稻波 益太郎

全 郡弓削村

石原 半右衛門

船井 郡川邊村

田 弘三

全 郡結密村

近 藤

全 郡檜山村

田 中半之丞

全 郡高原村

岩 田 証太郎

全 郡岡田上村

井 市兵衛

全 郡舞鶴町

高 田 久兵衛

全 郡中筋村

布 川 範兵衛

全 郡徐溝村

小 松 九郎右衛門

全 郡府中村

黒 田 宇兵衛

全 郡宮津町

西 原 利兵衛

全 郡加悦町

井 上 治兵衛

全 郡栗田村

右告示

告示第五拾貳號 廿五月

京都大林區署管内ニ東山派出所ヲ設ケ上下京區山城國愛

岩宇治紀伊並丹波國北桑田四郡ノ官林ヲ管理シ本月廿

八日ヨリ御開事務取扱フヘキ旨該署長ヨリ通知アリタリ

右告示

告示第五拾三號 廿五月

廿二年 告示第五拾三號 廿五月

愛宕郡外七郡徴兵參事員左ノ通當選云

全 那大原野村	全 那堀丙村	全 那深草村	久世那御牧村	全 那寺田村	全 那宇治町	宇治郡山科村	全 那醍醐村	全 那山科村
全 那大内村	全 那川岡村	全 那岩倉村	全 那下鴨村	全 那岩倉村	全 那下鴨村	全 那岩倉村	全 那下鴨村	全 那岩倉村
全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村	全 那太秦村
全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村
全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村	全 那大原野村

藤木 林種	鳴 脚 光 敷	北 村 憲 永	房岡 禹之輔	井上 與一 郎	中 沼 駿 六	津田 八郎兵衛	若 山 莊 造	正木 安左衛門	岡 崎 省 吾	城戸 善兵衛	
永田 德兵衛	村上市 太郎	千歳 一兵衛	尤谷 紋二 郎	夫久保 治郎市	山田 與四五郎	中 西 芳 居	藤西 茂右衛門	井 上 瀨 平	中 村 敏 夫	鎌 田 寛 隆	山 本 佐 兵 衛

全 那字治村

宮林源造

相樂那笠置村

大倉並藏

全 那加茂村

松本敬孝

全 郡木津村

飯田定治郎

全 郡湯船村

前田順吉

綴喜那井手村

宮本三四郎

全 郡八幡町

山田直竹

全 郡大住村

吉田喜内

全 郡田邊村

西村篤

右告示

告示第五拾九號 六月十四日

京都市上京區下京區徵兵參事員左ノ通常選

上京區岡崎町

大塚榮治

同 聖護院町

熊澤直行

同 岡崎町

横田余年之助

同 梶井町

畑道名

下京區五條通五條橋東二丁目

中村榮助

同 東洞院七條上ル笹屋町

溝口市次郎

同 西中筋御前通下ル丸屋町

猪上能貞

同 魚棚通室町西入西魚屋町

膳仁三郎

右告示

告示第六拾號 六月十四日

本府徵兵參事員左ノ通常選

本府會常置委員

田宮勇

廿二年

一何何錢印紙 何百枚

此類面金何圓何拾錢

計額面金何圓何拾錢

內

金何圓何拾錢 百分之(七)(八)(九)割引高

差引 金何圓何拾錢

右之通印紙御規則 割引ヲ以御賣不被下度此段請求

候也 非愛 恩典者印紙 辨別天

年 月 日 某印

京都府收稅長宛
第三號 印紙請求書
一訴訟用何錢印紙 何百枚
此類面金何圓何拾錢
計額面金何圓何拾錢

京都府收稅長宛

第三號 印紙請求書

一訴訟用何錢印紙 何百枚

此類面金何圓何拾錢

計額面金何圓何拾錢

何百枚

此類面金何圓何拾錢

計額面金何圓何拾錢

內

金何圓何拾錢 百分之(七)(八)(九)(四)(五)割引高

差引

金何圓何拾錢

廿二年

右之通印紙御規則ニ據リ割引ヲ以御賣下被下度此段請求
候也

受 恩典者印紙賣捌人

何 某 印

海防明金相國同登

告示第七拾貳號 八月

收稅部出張所於取扱候事項中左ニ列記セル願書ニ對ス
ル指令自令該出張所印ヲ以テ割印ヲ爲シ本官ノ捺印ヲ
廢ス
一 土地分合筆願
一 陸畔廢設願

- 一 諸印紙裁判所出賣願
- 一 諸印紙賣捌願
- 一 諸印紙賣捌人轉居願
- 一 損傷汚染諸印紙交換願
- 一 諸印紙買上願

告示第七拾三號 九月

明治二十一年告示第三十一號 京都商業學校規則第八條左
ノ通改正ス

第 八 條 入 學 者 必 須 小 身 體 健 康 品 行 方 正 志 望 確 固
若 不 滿 意 者 高 等 小 學 校 卒 業 シ タ ル モ ノ 若 ク ハ 之 ニ 相 當
學 力 有 ス ル モ ノ タ ル ヘ シ

右告示 本府 告示第七拾五號

告示第七拾五號 七月 京都市下京區所得稅調查委員及全補欠員當選者左列如左

所得稅調查委員 西村治兵衛

全補欠員 村田五兵衛

東枝吉兵衛

勝仁三郎

河本庄兵衛

東洞院通六角下ル御射山町

右告示 本府 告示第七拾九號

告示第七拾九號 七月 陸軍現役滿期下仕在志願者之學術試驗

右告示 本府 告示第七拾號

告示第七拾號 七月 本府徵兵參事

告示第七拾號 七月 本府常置委員

告示第七拾號 七月 河原林義雄

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

告示第七拾號 七月 明治廿八年十月

昭告示左... (十八年告示第九十六号總務局出入出願手續ノ件)

告示第八拾四號八月廿日

本府此月告示第七十一號全第七十四號ヲ以テ告示セシ府

會議員補欠員左ノ通常選就職セリ

本府河鹿郡若狹郡院村守若狹郡院若狹郡院

若狹郡院若狹郡院若狹郡院若狹郡院

告示第八拾六號九月七日

昭告示左...

明治卅一年二月府令第三十一號京府書學校規則別冊

昭告示左...

昭告示左...

京都府書學校規則...

昭告示左...

第二條 本校ノ美術ヲ進步ヲ計リ及ニ美術ノ應用并借ル

工業上ノ意匠考案ヲ開導スル爲メ内外國諸般ノ繪畫ヲ

授クル所トス

第二條 本校教科書大別シ三ノ中第一ノ普通畫學科曰ク專

門畫學科曰ク應用畫學科トス其科目ヲ定ムルハ左ノ如シ

第一ノ普通畫學科ニ繪畫ノ基礎ヲ授ク

第二ノ專門畫學科ニ繪畫ノ基礎及ニ繪畫ノ應用ヲ授ク

第三ノ應用畫學科ニ繪畫ノ基礎及ニ繪畫ノ應用ヲ授ク

第四ノ繪畫學科ニ繪畫ノ基礎及ニ繪畫ノ應用ヲ授ク

第五ノ繪畫學科ニ繪畫ノ基礎及ニ繪畫ノ應用ヲ授ク

第六ノ繪畫學科ニ繪畫ノ基礎及ニ繪畫ノ應用ヲ授ク

第三條 普通畫學科ハ專門畫學科及ヒ應用畫學科ノ豫科
ナリトシ普通畫學科ヨリ履修スルヲ常トス

第四條 專門畫學科修業目的ヲ以テ入學ノ者普通畫學科
第一年級ヲ編入ノ際其畫風ハ生徒ノ擇ムニ任スモ諸般
ノ畫風ヲ兼修又ハ半途移轉スルヲ得サルヲ常トス

第五條 普通畫學科ノ繪畫ニ用器畫法ノミハ洋畫專修ノ
生徒ニ非ズルモ之ヲ修メシムルモハ應用畫學科豫
望者ニハ普通畫學科修業中副學科トシテ洋畫法ハ大
概ヲ兼修セシム

第六條 應用畫學科ニ於テ應用モシメ公認スル工業當分
左ノ數項ヲ其數項ヲ修スルハ生徒ノ學ニ任ズル必シモ
數項ヲ兼修スルヲ要セス

下々繪彩色諸模樣(刺繡友禪紋織類)

陶器畫

漆器畫

銅器畫

彫刻下々畫

圖引

當分欠

第七條 就業年限ハ五箇年トス即普通畫學科ナ二年專門
畫學科及ヒ應用畫學科ノ二科ヲ各三年トシ三畫學科皆
一箇年ヲ一箇級トス

第八條 各科各級ノ課程及教科用圖書左ノ如シ

學科	普通書學科	目課	
		別課	授時間
		一年級	二八
		二年級	二八
		全	二五
		第一	二五
		第二	二五
		年	二五
		年	二五

計	體操	口授	理科	數學	書	
					第一	第二
三六	三		三	二	二八	二八
	輕體操		動物ノ大概及ヒ物理ノ大意殊ニ光學ヲ主トス	幾何學 点及曲直線ヨリ直線形ニ至ル	運筆法 減筆法 白描法 此級ニ於テハ植物ヲ授ク	副學科 用器書法(書法幾何)
三六	全上	三	繪畫美術ニ關スル論說歴史古圖書籍拔萃口授	解剖生理ニ於テ殊ニ骨脛筋肉ヲ主トシ重學ノ大要及ヒ顔料識別ノ大意并配色ノ摘要	全上 圓形 直線等積論ヨリ比例ニ至ル	臨摹法 沒骨法 彩色法 配色法 此級動物植物景色人物諸器具類配置ヲ授ク兼テ諸器物ノ形體并容易ナル下ク繪ノ豫習ヲナサシム
						副學科 顔料調合并用法 用器書法 (投影畫) 鉛筆畫

廿二年

三百十九

實習	一九	意匠、圖畫、模樣、紋類	一九	應用實習	（實地） （地下） （研究）	一九	應用（全）	（但疎密ニ拘
口授	三二	普通書學科ノ旨ニ全シ 但應用美術ニ關スル モノヲ主トス	三二	全上		三二	全上	
體操	三	兵式	三	全上		三	全上	
月計	三六		三六			三六		

専門科繪畫欄内ニ〇□×ノ符號ヲ記スルモノハ普通書學科ノ〇ハ専門科ノ〇ニ□ハ
 □ニ×ハ應用科ノ×ニ連絡修業セシムルモノトス此専門及ヒ應用ノ二科ハ生徒ノ擇
 ムニ任セ其一ヲ修了セシム

應用書學科ノ實習例ヘハ古鏡背ノ紋類ヲ現時ノ布帛模樣ニ轉用又ハ洋布更紗ノ式ヲ
 用ヒ我更紗形ニ運用スルノ類
 教科用圖書配當表

普通書學科ノ部								
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

課目	年級	第一	第二	第三
繪畫	教員手帖 平瀬作五郎纂譯用器書法圖式	教員手帖 用器書法用書全上		
數學	デビース氏著 エレメンタリージオメトリー	全上		
理科	グレンー氏植物學初歩 ニコルソン氏動物學 チンダル氏物理書ノ摘要 但光學モ亦同書ヲ用フ	ヒチコック氏解剖生理書 チンダル氏物理書重學ノ部 シブルウ氏配色學 但顏料ニ係ル用書未定 繪畫ニ關スル論說歴史古圖畫書籍 ヲ採萃適宜口授ス故ニ圖書ヲ豫定 セス		
口授				

專門書學科ノ部	第一	第二	第三
課目	第一	第二	第三
年級	第一	第二	第三

繪 畫	教員手帖 古圖書	全上	全上
口 授	普通書學科ノ旨ニ全シ	全上	全上

應用書學科ノ部

課目	年級	第一 年	第二 年	第三 年
繪 畫	教員手帖 古畫及古模樣紋類雜圖	全上		全上
口 授	本科ニ關スル圖書書籍即チ古模樣紋類及美學光彩色裝飾并各國風俗裝飾沿革等ヲ諸圖書ヨリ採萃口授スルヲ以テ用書ヲ豫定セス			

學年及學期

第九條 學年ハ九月一日ニ始リ翌年七月十五日ニ終ル

第十條 學年ヲ分チ二學期トシ第一學期ヲ九、十、十一、十二、

一、二ノ六箇月第二學期ヲ三、四、五、六、七、ノ五箇月トス

授業及休業

第十一條 授業ハ一學年内凡四十週ニシテ每週三十六時

トシ一、二、三、十、十一、十二、ノ六箇月ハ午前九時ヨリ始メ午

後三時ニ終リ四、五、ノ二箇月ハ八時ヨリ始メ二時ニ終リ

六、七、九、ノ三箇月ハ七時ヨリ始メ午十二時迄トス

第十二條 出席ノ者ニハ毎時一百點ヲ與ヘ學年ノ終リニ

於テ通計シ其平均點ヲ以テ學年修業成績點ノ一部ニ充

ツ

第十三條 夏期休業ハ七月十六日ヨリ八月卅一日迄冬期

休業ハ十二月廿五日ヨリ翌年一月七日迄トス

廿二年

三百廿五

第十四條 學年中日曜日及左ノ各節大祭ヲ休業トシ臨

時休業ハ時限指示スルモ少クモハ一日以上ノ間

孝明天皇祭 一月三十日

紀元節 二月十一日

春季皇靈祭 三月一日

神武天皇祭 四月三日

秋季皇靈祭 十月一日

神嘗祭 十一月三日

天長節 十一月三日

新嘗祭 十一月廿三日

此他七月二日本校創設開業日及此試業後五日ヲ

休業トシ

第十五條 缺課及遲參

疾病又ハ他由得ル事故ニテ一日又ハ二日間

欠課者ハ保證人捺印セル届書ヲ當日又ハ翌日事務

所ニ出シ

第十六條 疾病事故因リ三日以上欠課セル者

ハ其事由ハ記載シ日數ヲ豫定シ保證人捺印セル届書ヲ

事務所ニ出シ

但病氣ニテ欠課一週間ヲ過ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添

フ

第十七條 教授時間ニ後レ着校スル者ハ其事故ノ何タル

ヲ問ハス其時間ニ附スル出席點ノ半ヲ減ス

第十八條 臨時發病以外正課中途ヨリ欠課セル者得ス

廿二年 三百廿七

不得已事故ヲシテ保證人捺印シ届書ヲ事務所へ出スヘ

但横景贋物ヲ就キ之ヲ描寫等ヲサシテ爲メ他出正課

ヲ欠クハ本條ノ限リニ非スト雖モ斯ル場合ニ於テハ

成陸沙前日教員ヲ經テ事務所へ申出ルシ

成陸沙前日教員ヲ經テ事務所へ申出ルシ

成陸沙前日教員ヲ經テ事務所へ申出ルシ

第十九條 入學期ハ學年ヲ始メテ入學スルモノニテ

第二十條 普通職學科第一卒業生ハ少シモノ高等小

學校卒業者クハ之ニ相當スル學力ヲ有スルモノトス

但繪畫ヲ幾分ノ固有力アルモノハ試業ノ上其科ニ限

第二十條 入學期ニ後レ出願スル者アルトハ時宜ニヨ

第二十一條 入學期ニ後レ出願スル者アルトハ時宜ニヨ

要許可スルモノニテハ一

第二十二條 入學ヲ願ス者ハ入學願書(書式第一號)及ヒ履

歷書ヲ出願スルモノニテハ一

第二十三條 入學許可ヲ得タル者ハ上下京區内ニ於テ一

家計ヲ立ル者ヲ以テ保證人トシ保證人所在ノ區長與印

シタル在學証書(書式第二號)ヲ出スヘシ

但父兄親族主下京區内ニ在ル者ハ其父兄親族ヲ保證

人トナスヲ得其所ノ區長與印ハ本條ニ同シ

第二十四條 保證人轉住セハ速ニ届出ヘシ若シ上下京區

外ニ轉住セハ保證人ヲ改メヘシ

第二十五條 卒業ヲ待テ退學セシムル者ハ其事由

ヲ記載シ保證人捺印セル願書二通ヲ出スヘシ

第二十六條 一學期欠課ノ罷シハ專情差問ヒ退學ヲ諭ス
 第二十七條 校則ニ違背シ或ハ取締上不都合ナル者ハ退
 學ヲ命ス尤情狀ニ依リ一般ノ學校へ入學禁止ノ處分ヲ
 其筋へ具申スヘシ
 第二十八條 學業遲滞ニシテ卒業ヲ見込キ者ハ諭シテ
 退學セシムルコトアルヘシ
 第二十九條 試業及學業證書
 第一項 臨時試業ハ各學科進步ノ程度ニ隨ヒ各教員ノ
 見込ヲ以テ一學年内三回又ハ二回之ヲ行フモノトス
 第二項 學期試業ハ第一學期ノ終リ一週間内ニ於テ本

學期中履修セザル諸科目ノ試業ヲ行フモノトス
 第三項 學年試業ハ每學年終リニ於テ本年中履修セ
 ザル諸科目ノ試業ヲ行フモノトス
 第三十條 學年試業ニ合格シタル者ニ以テ書式第三號全科
 卒業ノ者ニハ書式第四號ヲ證書ヲ附與ス
 第三十一條 學業成績點ヲ左ノ六項ニ區別ス
 第一項 某學科日課ノ成績ニ附スルモノヲ日課點トス
 第二項 某學科臨時試業ノ成績ニ附スルモノ之ヲ臨時
 試業點トス
 第三項 某學科學期試業ノ成績ニ附スルモノ之ヲ學期
 試業點トス
 第四項 某學科學年試業ノ成績ニ附スルモノ之ヲ學年

試業點... 第五項 學年中某學科ノ日課及ヒ臨時學期ノ試業各平均點ヲ合計シ之ニ學年試業點ヲ加ヘ四除シタル商學年修業點トス

第六項 各學科學年修業點及ヒ出席點ヲ合計シ之ヲ平均點トシタルモノヲ全學科學年修業成績點トス... 但平素ノ行狀ヲ監査シ失行スル者ハ豫テ失行點ヲ...

第三十二條 學科ノ成績點ハ一百ヲ以テ最高トス... 第三十三條 全學科學年修業成績點六十以上ヲ得ルモノハ昇級セシメテ未滿ノモノハ原級ニ止ル... 第三十四條 成績點六十以上ハ一科三十點二科以上

四十五點未滿ヲ得ルハ原級ニ正ス... 第三十五條 學年內欠課其半年以上又ハ一科クハ未

熟ナリハ教員於テ見認ルルハ事故ノ何タルヲ問ハス學年試業ヲ受クルヲ得ス... 第三十六條 各科目以上臨時及學期試業點ノ合計平均數三十五點未滿ノ者ハ學年試業ヲ受クルヲ得ス

第三十七條 學年試業中何ノ事故ヲ問ハスニ科タリハ欠課スル者ハ總テ原級ニ止ル... 但平素ノ品行端正ニシテ學業優等ナルモノハ假ニ進級ヲ許シ他日特ニ受檢ヲ命スルコトアルヘシ

第三十八條 本校ノ生徒タルモノハ總テ左ノ諸項ヲ服膺

廿二年

- 第一項 凡學生徒校則ニ遊フヘキハ勿論時々論達ノ旨ヲ守ルヘシ
- 第二項 職員又ハ教員ノ訓戒ニ之ヲ遵守スルモノトス
- 第三項 言語品行ニ慎ミ專ラ學業ヲ勉ムヘシ
- 第四項 交際ニ信義ヲ重シ友誼ヲ失フヘカラス
- 第五項 凡長上ニ對シ敬禮ヲ欠クヘカラス
- 第六項 教員ノ許可ヲ得ズテ教室ヲ出入スヘカラス
- 第七項 正課ノ終リ翌日受業ノ用品ヲ教員ニ問ヒ遺漏ナク必ズ携帶スヘカラス
- 第八項 携帶スル所ノ用品ヲ錯亂スヘカラス
- 第九項 洋服ニ非カレハ必ズ袴ヲ着クヘシ

- 第十項 身體衣服ハ必ズ清潔整止必ズ靜肅ナルヘシ
- 第十一項 猥リニ集合無益ノ雜話ヲナスヘカラス猥リニ座ヲ離ルヘカラス他人ノ勤學ヲ妨グヘカラス
- 第十二項 總テ爭論ヲ禁ズルハ勿論學術上ノ討議タリ
- 第十三項 校内ノ樹木ヲ傷害シ瓦石ヲ擲ツ等總テ不良ノ遊戯ヲナスヘカラス
- 第十四項 他人ノ物品ヲ濫用スヘカラス
- 第十五項 校外ニ在ルルト雖モ本校徽章ヲ帽ヲ戴キ容貌ヲ整行爲ニ於テ本校生徒ニ對シ體面ヲ汚スコアルヘカラス

第三十九條 若シ諸項ニ違背セシ者ニハ失點ヲ附シ或ハ

第廿八條ノ處分ヲナスコトアルヘシ
授業料及書器貸料

第四十條 受業料 一月金五拾錢トス

第四十一條 既納ノ受業料ハ業ヲ受クルト否ト問ハス
返附セサルモノトス

第四十二條 受業料ノ納期ハ毎月一日ヨリ五日迄トス

但一學期内ノ受業料ヲ併セ納ムルモ妨ケナシ

第四十三條 圖書器具ヲ借用セシ者ハ毎月末借料トシテ
元假四十分ノ一ヲ事務所ヘ納ムヘシ

第四十四條 貸與ノ圖書器具ハ七月十二月ノ末ニ返納期
ニ至ル返納期ニ至ル一旦返納スヘシ返納期若シ疾病事故等
ノ欠課日數中ニ在リテ豫認セシ欠課申出ノ際一旦返納

スヘシ

教授要旨

第四十五條

繪畫 内外國ノ各畫學科ヲ設ケ生徒ノ望ニ任セ之ヲ授
ケ兼テ應用美術ノ基礎ヲ立テシム

數學 幾何ノ大要ヲ歴授シ就中幾何ノ原則ヲ了得セシ
ムルヲ主トス

理科 動植物ノ構造發育殊性及ヒ分類種屬ノ大別骨節
筋肉ノ大要ヲ講授シ且物理ノ大意殊ニ光學ニ於テハ

陰陽遠近配色發彩ノ理ヲ辨セシメ併セテ顔料ノ職別
及配合並ニ重學ノ大意ヲ了セシメ以テ描寫及ヒ着染

ニ實力ヲ與フ

口授 内外國新古ノ圖畫及ヒ模様紋類ニ就キ指教シ諸
 書ヨリ繪畫及ヒ應用美術ニ關スル事ヲ指導シ口授
 生徒ノ意匠者案ヲ開導ス
 體操 輕體操及ヒ兵式ヲ授ケ以テ體力ヲ養フ
 第四十六條 平素授業及ヒ試業ノ際各藝業實習研究上ニ
 活力ヲ與ヘシ爲メ廣ク專門畫家及工業家並ニ有志者ノ
 贊襄加職ヲ請ヒ求ムルモノトス
 第三號 用紙美濃野紙二通
 住所族籍(寄留人ナレハ寄留所共)
 戶主ニアラサレハ某男女某弟妹

○ 天然痘又ハ種痘濟ノハ其氏
 年號何年何月何日生

應用畫學科豫望ノモノハ普通畫學科修業出願ノ
 初メニ於テモ〇印ハ應用畫學科ノ五字ヲ記ス
 今般御校へ入學致度依テ履歷書并既痘証相添此段相願
 候也

年 月 日
 願 人 氏 名 印
 住所族籍
 保 證 人 氏 名 印

其 京 都 府 畫 學 校 充
 用紙美濃野紙二通

一何年何月何日何年何月迄何地何學校ニ於テ又ハ何地
 何某ニ就キ何々修業
 一其他出處進退懲罰等
 右之通

年 月 日

氏 名 印

第二號

在學証書

用紙美濃紙壹通印紙貼用

私儀今般入學御許可相成候ニ付而者御校則一切堅ク相
 守可申ハ勿論候ニ退學轉學等致聞敷依テ証書如此候也

住所族籍(寄留人ナレハ寄留所共)

天正戸主ニテラサレハ某男女某弟妹

年 月 日

氏 名 印

本人在學中ニ係ル事件一切引附候也

住所族籍

保證人

氏 名 印

前書保證人當區内ニ於テ一家計ヲ立ツルモノニ相違無

之候也

上 下 京 區

區 長

氏 名 印

年 月 日

京都府番學校充

族籍	氏名	年月日生
普通畫學科第一	年ノ課程ヲ修了	年月日
京都府畫學校		

族籍	氏名	年月日生
專門畫學科第一	應用ノ課程ヲ修了	年月日
京都府畫學校		

族籍	氏名	年月日生
普通畫學全科ノ	課程ヲ卒ヘタル	年月日
京都府畫學校		

族籍	氏名	年月日生
應用畫學全科ノ	課程ヲ卒ヘタル	年月日
京都府畫學校		

告示第九拾五號 廿八日

諸印紙手形用紙請求之節現印紙ハ三井銀行ヨリ相渡シ來候處來十月一日ヨリ當廳收稅部ニ於テ下付ス

但三井銀行ヨリ印紙引繼取調之都合モ有之ニ付來ル十月一日ヨリ三日迄印紙類之賣下ヲ爲サハルニ依リ同日

限賣下ヲ望ムモノハ前以テ請求之手續ヲ爲スヘシ

右京都市印紙賣捌人ヘ告示ス

告示第九拾七號 九月三十日

收稅部出張所ニ於テ取扱候事項中ノ指令ニ對シ本官捺印廢止ノ義本年七月第七十二號ヲ以テ及告示置候外猶左ニ列記セル願止申書ニ對スル指令ハ自今該出張所印ヲ以テ割印ヲ爲シ本官ノ捺印ヲ廢ス

一 開墾目的變更及開墾廢止願上申

一 土地分裂官有地成及潰地成ニ係ル殘地反別地價訂正願

一 願

一 畦畔廢設ニ付反別地價訂正願

一 土地臺帳面持主住所氏名等誤謬訂正願

右各郡一般ヘ告示ス

告示第九拾八號 九月三十日

郡部常置委員川勝光之助辭職ニ付補欠トシテ豫備員今村忠平常置委員就職セリ

右告示ス

告示第百五號 十月十日

本年六月告示第七十號附印紙類賣下手續第四條ヲ左ノ通改

廿二年

正法... 第四條... 第三條... 手續了シタル後印紙類會計... 官吏ニ就キ現印紙ノ交付ヲ受クヘシ

右京都市へ告示ス

告示第七號

從來當廳へ差出候諸願伺届ノ内戸籍ニ關スル事件ハ自後區役所ヲ經由スルニ及ハス直ニ當廳へ差出スベシ

右京都市へ告示ス

告示第八號

大坂大林區署仮事務所ヲ大坂市東區北濱二丁目百拾八番地へ設置シ本月十五日迄事務取扱候旨通知セヨ

告示第百拾四號 十一月

本年六月告示第七十號諸印紙類賣下手續中左ノ通改正追加ス

第一條第一號式第二號式宛名京都府收稅長宛トアルヲ京都府收稅部京都出張所長宛ト改ム
第一條第二條中收稅部以下(京都出張所)ノ五字ヲ挿入

右告示ス

告示第百拾五號 十一月

收稅部京都出張所於テ取扱候事項中左ニ列記セル願上申ニ對シテ指令ハ自今該出張所印ヲ以テ割印ヲ爲シ本官ノ捺印ヲ廢ス

廿二年

- 一 土地分合筆願
- 一 畦畔廢設願
- 一 開墾目的變更及開墾廢止願正申
- 一 土地分裂官有地成及澁地成ニ係ル殘地反別地價訂正願
- 一 畦畔廢設ニ付反別地價訂正願
- 一 土地臺帳面持主住所氏名等誤謬訂正願
- 一 諸印紙裁判所公賣願
- 一 諸印紙賣捌願
- 一 諸印紙賣捌人轉居願
- 一 損傷汚染諸印紙交換願
- 一 諸印紙買上願

右京都市へ告示ス

告示第百拾九號 二十一日

本年九月告示第九十號同第九十三號同第九十四號ヲ以テ

告示セシ府會議員補欠員左ノ通常撰就職セリ

本年告示第百三十
五号ニヨリ消滅

京都市上京區聖護院町

熊澤 直行

全上寺町通鞍馬口下ル高德寺町

松永 恒久

全下京區烏丸通六角上ル饅頭屋町

樺井 保親

全上新ノ町六角下ル上黒門町

松盛 徳三郎

廿二年

三百四十九

宇治郡山科村字小山
中川運之助

右告示ス

告示第百貳拾號 十一月

大坂大林區署本月一日ヨリ大坂府下大坂四天王寺境内方
丈ニ於テ設置シ事務取扱相成候付テハ全日以后官林ニ係
ル願伺届ハ全署派出所ヲ經由可差出葛野乙訓南桑田ノ三
郡ハ當分全署東山派出所ヘ差出ス

右告示ス

告示第百貳拾壹號 十一月

鳥取縣於テ水産保護ノ爲メ漁業取締規則ヲ設ケ左ノ通介
達候旨通知アリタリ

漁業取締規則

第一條 漁業組合設置ノ漁場ニ於テ縣内外人ヲ問ハス組

合外ノ者從來ノ慣行特約ニ依リ漁業採介採スルルハ其

他組合規約ニ遵フヘシ

第二條 漁業組合設置ノ漁場ニ於テ遊樂若クハ自用ノ爲

メ魚介漁ヲ採取スルモノハ其他組合規約ニ定メタル制

限禁止ノ事項ヲ遵守スルモノハ其他組合規約ニ定メタル制

第三條 第一條第二條ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以

下ノ科料ニ處ス

右丹後國ヘ告示ス

告示第百貳拾三號 十一月

本年九月第九十六號ヲ以テ告示セシ府會議員補欠員左ノ

廿二年

道管撰就職セシメテ
南桑田郡篠村字篠

隅田勘藏

右告示ス

告示第百貳拾四號 十一月

本年十月告示第百號ヲ以テ告示セシ府會議員補欠員左ノ

通當選就職セシメ

久世郡宇治町字宇治

菱木信興

右告示ス

告示第百貳拾六號 十一月

明治廿二年 告示第四十一号ヲ廢ス

右告示ス (廿一年告示第四十一号海軍下士卒戸籍異動アル事届出方ノ件)

告示第百貳拾七號 十一月

本年十月告示第百六號ヲ以テ告示セシ府會議員左ノ通當

撰就職セシ

船井郡高原村字豊田

田中半之丞

右告示ス

告示第百貳拾九號 十一月

本年四月當府告示第三十號中讓與ノ下「質入」ノ二字ヲ挿

入ス

右告示ス

告示第百三拾號 十二月

廿二年

本年十一月告示第百十七號ヲ以テ告示セシ府會議員補欠員左ノ通當選就職セリ

京都市下京區東洞院通六角下ル御射山町

村尾 勘三郎

右告示ス

告示第百三拾五號 廿四月

本年九月告示第九十號ヲ以テ告示セシ府會議員補欠員熊澤直行當選就職セシ旨同年十一月告示第百十九號ヲ以テ告示セシ處該選舉會當選之査定不服ノ申立アリシヲ以テ之ヲ審査シ判定之上更正セシメ左之通當選就職セリ

京都市上京區聖護院町

辻 重行

右告示ス

告示第百三拾六號 十二月廿六日

府會議員區郡選出人員府會ノ議決ヲ取リ左ノ通改正ス

愛宕郡 二人

葛野郡 三人

右告示ス

下卷

十八丁
廿二丁
四十九丁
五十一丁
五十九丁
八十九丁
九十二丁
九十六丁
九十九丁
百十八丁
百三十五丁
二百九十六丁

末行
帳簿式ノ内
初行
初行
二行
八行
末行
二行
初行
備考ノ三行
七行
七行

敷居ノ居ノ字ハ衍
此間ニ行ハ三行ノ誤
參看全トアルハ本年甲ノ誤
其下ハ下其ノ轉植
壯シハ微シノ誤
空白アルハ添ノ字ヲ脱ス
節ハ第ノ誤
指令ハ訓令ノ誤
市條第一ハ第一條市ノ轉植
流朱ハ流失ノ誤
爲換方ニハノノ誤
藺田ハ藺田ノ誤

正誤

明治廿四年二月十九日印刷
全年全月二十日出版

(定價金)

京都府藏版

京都府内務部第一課編纂

印刷兼發賣

點 林 堂

京都市上京區
烏丸通三條北
場之町
三十三番戶

